

UIターン者等への意識調査 報告書

平成29年3月

目次

第1章 調査の内容.....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 内容.....	2
(1)実践層「U I ターン者への調査」	2
(2)関心層「U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）」	3
(3)低関心層「U I ターン希望者への調査2（都市部在住のU I ターン検討者）」	4
第2章 実践層「U I ターン者への調査」	5
2-1. 調査結果.....	5
第3章 関心層「U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）」 .	11
3-1. 調査結果.....	11
第4章 低関心層「U I ターン希望者への調査2（都市部在住のU I ターン検討者）」	
.....	17
4-1. 調査結果.....	17
第5章 課題分析.....	20
5-1-1. 実践層「U I ターン者への調査」	21
5-1-2. 関心層「U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）」	35
5-1-3. 低関心層「U I ターン希望者への調査2（都市部在住のU I ターン検討者）」	43
5-2. まとめ.....	48
5-3. 総括.....	52

第 1 章 調査の内容

第1章 調査の内容

1-1. 概要

(1)背景と目的

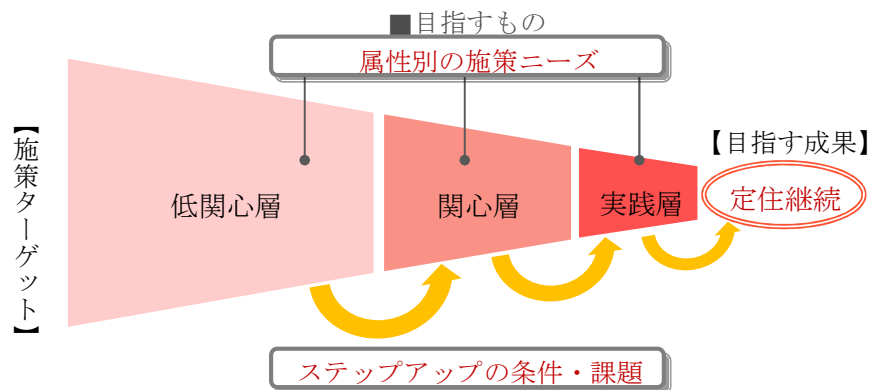
全国的に人口減少への対応が課題となる中、他の自治体も移住・定住対策に力を入れており、取り組みを拡大している状況である。

このような中、本業務では、他自治体との差別化を図り、更なる移住・定住施策の強化を進めるうえでの課題等を分析するため、都市部のUIターン希望者、既に島根に移住してきた方などを対象に、移住・定住に関する意識調査を実施するものである。

移住・定住の実現は、移住希望者等の意識・関心の変容により達成されるものであるため、移住・定住対策は、移住希望者の意識・関心のレベルに併せ実施する必要がある。

そのため、本業務で意識調査を行う対象者の属性を、島根県への移住・定住の「実践者」「関心者」「低関心者」に区分し、これらの施策ターゲット別のニーズを詳細に把握する。そして、低関心者を関心者へ、関心者を実践者へ、更には実践者を定住継続へとステップアップする上での課題、必要な施策を明らかにし、今後の事業構築、施策立案に向けた基礎資料とすることを目的とする。

■目指す成果のイメージ



(2)実施期間及び対象範囲

実施期間:平成 28 年 12 月 27 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

対象範囲:UIターン者への調査(島根県内)

UIターン希望者への調査(国内)

1-2. 内容

(1)実践層：UIターン者への調査

①対象

定住財団が行う無料職業紹介を利用した就職決定者など

※平成23年～平成28年9月末時点の就職決定者

②調査項目

No.	項目
1	回答者属性(性別、年齢、現住所、UIターン直前の住所、転入した年月)
2	出身地(Uターンの場合、Iターンの場合)
3	島根県との関係
4	現在同居している家族
5	UIターン直前に同居していた家族と当時の子どもの年齢
6	UIターンを考えるようになった動機
7	UIターン検討時に困ったことや不便を感じたこと、特に困ったことや不便を感じたこと
8	UIターン後に困ったことや不便を感じたこと、特に困ったことや不便を感じたこと
9	UIターン前の期待度及びUIターン後の満足度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て)
10	現在の生活の満足度
11	UIターン直前及び現在の就学・雇用形態、業種
12	希望する職業かどうか
13	UIターン直前及び現在の世帯年収
14	現在の職業の継続意向
15	現在の住宅形態
16	UIターンする際に住宅をみつけた方法
17	UIターンする際に住宅を探す上で困ったことや不便に感じたこと
18	現在の近所付き合いの程度
19	今後の近隣住民との付き合い方
20	UIターン検討時の島根県に対するイメージ
21	UIターン者の確保や観光誘客の促進に向けたPR方法
22	現在の地域への居住継続意向と移りたい理由
23	UIターン情報の収集に利用した情報・サービス等
24	UIターンする際に受けた支援制度
25	UIターンについて必要だと感じている施策やご意見・ご感想

(2)関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

①対象

定住財団に情報登録している県外在住者

②調査項目

No.	項目
1	回答者属性(性別、年齢、現住所、出身地)
2	島根県との関係
3	島根県に対するイメージ
4	現在同居している家族と子どもの年齢
5	UIターンを考えるようになった動機
6	UIターン後の生活を考える上での期待度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て)
7	今後のUIターン意向
8	UIターンする際の不安
9	現在及びUIターン後に希望する就学・雇用形態、業種と勤続年数
10	現在及びUIターン後に希望する世帯年収
11	現在及びUIターン後に希望する住居形態
12	現在の近所付き合いの程度
13	UIターン後の近所付き合い意向
14	UIターンを検討するにあたり困っていることや不便を感じていること、特に困っていることや不便を感じていること
15	UIターン情報の収集に利用した情報・サービス等
16	島根県、定住財団が実施する情報・サービスの満足度
17	UIターン者の確保や観光誘客の促進に向けたPR方法
18	UIターンについて必要だと感じている施策やご意見・ご感想

(3)低関心層：UIターン希望者への調査2（都市部在住のUIターン検討者）

①対象

都市部在住の地方出身者等で、UIターンを検討したことがある方

※UIターン先は島根県に限らない

②調査項目

No.	項目
1	回答者属性(性別、年代、出身地)
2	出身地が島根県の場合の市町村名
3	現在同居している家族と子どもの年齢
4	職業、職種、勤続年数
5	UIターンに興味を持つようになったきっかけ
6	今後のUIターン意向
7	UIターン後の生活を考える上での期待度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て)
8	UIターン後の仕事を考える上で重視すること
9	UIターンについて必要だと感じている施策やご意見・ご感想
10	島根県との関係
11	島根県に対するイメージ
12	UIターン候補地としての島根県への関心度
13	島根県へのUIターン意向
14	島根県で行われているUIターン関連の取組に対する認知度
15	島根県で行われているUIターン関連の取組に対する役立ち度
16	UIターン者の確保や観光誘客の促進に向けたPR方法

第2章

実践層

UI ターン者への調査

第2章 実践層：UIターン者への調査

2-1. 調査結果

(1)調査の概要

項目	内容
調査手法	調査票郵送
調査期間	平成 29 年 2 月 17 日(金)～平成 29 年 3 月 13 日(月)
発送数	667
回収数(回収率)	258(38.7%)

(2)回答者属性

項目	概要
対象	定住財団が実施する無料職業紹介を利用して就職決定した人など ※平成 23 年～平成 28 年 9 月末時点の就職決定者
性別	「男性」…72.5%、「女性」…23.3%
年齢	「30 代」…41.9%、「20 代」…33.3%、「40 代」…13.6%
現住所	「松江市」…30.2%、「出雲市」…24.4%、「益田市」…21.7%
UIターン別	「Uターン」…60.4%、「Iターン」…39.6%
UIターン前の職業	「会社員(正規)」…67.1%、「学生」…11.6%、 「会社員(派遣・嘱託・契約)」…7.4%

(3)各設問における単純集計結果のポイント

No.	項目	概要
1	回答者属性（性別、年齢、現住所、UIターン直前の住所、転入した年月） [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> UIターン直前の住所は、 「東京都」…17.1%、「大阪府」…12.8%、「広島県」…12.0% 転入後の年数は、 「1～2 年未満」…26.0%、「1 年未満」…22.5%、 「3～4 年未満」…15.9% <p>※その他の項目は、2)回答者属性に反映</p>
2	出身地 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> Uターン者は、 「松江市」…26.6%、「出雲市」…24.7%、「益田市」が 20.1% Iターン者は、 「大阪府」…12.9%、「広島県」、「山口県」…9.9%、「千葉県」…7.9%
3	島根県との関係 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「親や家族の出身地である」…69.8% 「以前住んでいたことがある」…43.8% 「仕事や旅行等で訪れたことがある」…11.6%

4	現在の同居している家族 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「配偶者」…46.9%、 「子ども」…33.3%、 「自分の親」…29.5%
5	UIターン直前に同居していた家族と当時の子どもの年齢 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「誰も同居していない」…46.5%、「配偶者」…34.5%、 「子ども」…27.1% 子どものうち長子(長男・長女)の年齢は、 「未就学児(0～5歳)」…70.0%、「小学生」…12.9%、 「18歳以上」…11.4%
6	UIターンを考えるようになった動機 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「就職・転職を考えるタイミングと合致したから」…50.0%、 「自分(又は親・祖父母)の出身地だから」…43.4%、 「結婚相手が島根県民だから」…16.3%
7	UIターン検討時に困ったことや不便を感じたこと、特に困ったことや不便を感じたこと [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事情報の不足」…47.7%、 「望む業種の求人がどれだけあるか分からない」…40.7%、 「島根県の賃金の相場が分からない」…29.8%
8	UIターン後に困ったことや不便を感じたこと、特に困ったことや不便を感じたこと [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「天候(積雪等)や自然災害」…32.9%、 「車社会への適応(使用頻度の増、費用)」…31.8%、 「友人ができない」…16.3%
9	UIターン前の期待度及びUIターン後の満足度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て) [期待と満足度は単一回答] [重視した項目は複数回答(最大2つ)]	<p>※記載内容の説明 各項目の期待値・満足度については、回答の選択肢「どちらでもない=3ポイント」を基準とし、平均点の高低により記載している。 1(低い) < 基準3 < 5(高い)</p> <p>■仕事に関すること</p> <p>(1)UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高いのは… 「勤務地」「仕事の内容」「職場の雰囲気・人間関係」など 期待値が基準値より低いのは… 「給与」「起業・創業ができる環境」「昇給・昇進」など <p>(2)UIターン後の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足度が基準値より高いのは… 「勤務地」「職場の雰囲気・人間関係」「仕事の内容」など 満足度が基準値より低いのは… 「給与」「昇給・昇進」「起業・創業ができる環境」 <p>(3)重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仕事の内容」…51.9%、「給与」…35.7%、「労働時間」…24.8%

		<p>■生活環境に関すること</p> <p>(1)UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> • 期待値が基準値より高いのは… 「治安の良さ」「自然環境に恵まれた生活」「食べ物、水がおいしい」など • 期待値が基準値より低いのは… 「交通の便が良い(公共交通機関等)」「都市部に近いレベルの生活環境」「交通費が安い」など <p>(2)UIターン後の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> • 満足度が基準値より高いのは… 「食べ物、水がおいしい」「自然環境に恵まれた生活」「治安の良さ」など • 満足度が基準値より低いのは… 「交通の便が良い(公共交通機関等)」「交通費が安い」「家賃・物価が安い」など <p>(3)重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「仕事とプライベートのバランスが良い」…26.7%、 「自然環境に恵まれた生活」…22.1%、 「食べ物、水がおいしい」…16.3% <p>■医療福祉、教育、子育てに関すること</p> <p>(1)UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> • 期待値が基準値より高いのは… 「都会にはない子育ての環境がある(自然の中で育つ)」「都会にはない子育ての環境がある(地域社会の中で育つ)」「保育所の入りやすさ(待機児童少ない)」など • 期待値が基準値より低いのは… 「子どもの学力向上が期待できる」「医療機関の数や医療レベルの充実」「医療機関へのアクセス」など <p>(2)UIターン後の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> • 満足度が基準値より高いのは… 「都会にはない子育ての環境がある(自然の中で育つ)」「都会にはない子育ての環境がある(地域社会の中で育つ)」「子どもの人間力形成によい影響がある」など • 満足度が基準値より低いのは… 「子どもの学力向上が期待できる」「子どもの教育環境(習い事や塾、スポーツ等)」「医療機関の数や医療レベルの充実」など <p>(3)重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「医療機関の数や医療レベルの充実」…29.8%、 「医療機関へのアクセス」…24.8%、 「都会にはない子育ての環境がある(地域社会の中で子どもが育つ環境)」…14.7% 「都会にはない子育ての環境がある(自然の中で子どもが育つ環境)」…14.7%
--	--	--

10	現在の生活の満足度 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「とても満足」…13.2%、「やや満足」…49.2%、「どちらともいえない」…17.1%、「やや不満」…13.2%、「不満」…4.7%
11	UIターン直前及び現在の就学・雇用形態、業種 [単一回答]	<p>■就学・雇用形態</p> <p>(1)UIターン直前</p> <ul style="list-style-type: none"> 「会社員(正規)」…67.1%、「学生」…11.6%、「会社員(派遣・嘱託・契約)」…7.4% <p>(2)現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 「会社員(正規)」…80.2% (77.6%)、「会社員(派遣・嘱託・契約)」…10.5% (11.8%)、「パート・アルバイト」…2.3% (2.6%) <p>※()内はUIターン直前に「学生」だった人を除いた場合の数字</p> <p>■業種</p> <p>(1)UIターン直前</p> <ul style="list-style-type: none"> 「製造業」…21.2%、「情報通信業」…19.4%、「卸売業・小売業」…11.5% <p>(2)現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公務(他に分類されるものを除く)」…24.5%、「製造業」…18.9%、「情報通信業」…16.1%
12	希望する職業かどうか [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「はい」…68.6%、「いいえ」…6.2%、「どちらともいえない」…22.9%
13	UIターン直前及び現在の世帯年収 [単一回答]	<p>■UIターン直前</p> <ul style="list-style-type: none"> 「300～399万円」…21.7%、「500～699万円」…16.7%、「200～299万円」…14.7%、「400～499万円」…14.7% <p>■UIターン後</p> <ul style="list-style-type: none"> 「200～299万円」…27.5%、「300～399万円」…26.4%、「400～499万円」…16.3%
14	現在の職業の継続意向 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「ずっと続けたい」…47.7%、「当面は続けるがいずれ変えたい」…22.5%、「できるだけすぐ変えたい」…3.5%、「どちらともいえない」…23.6%
15	現在の住宅形態 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「賃貸アパート・マンション」…34.5%、「親の家」…29.5%、「新築持ち家(一戸建て)」…9.3%
16	UIターンする際に住宅をみつけた方法 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「実家に住んだため、探していない」…39.1%、「不動産会社」…22.9%、「不動産情報サイト」…12.0%

17	UIターンする際住宅を探す上で困ったことや不便に感じたこと [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「情報量が少ない」…21.7%、 「周辺の生活環境が分からない」…20.5%、 「家賃や物件価格の相場が合わない」…19.4%
18	現在の近所付き合いの程度 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」…56.2%、 「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」…15.1%、 「地域活動、公民館活動等を通じて積極的に付き合い合っている」…13.6%
19	今後の近隣住民との付き合い [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「現在の付き合い程度で良い」…60.5%、 「現在よりも、お祭りなど行事には参加していきたい」…20.9%、 「現在よりも、地域活動(自治会等)に積極的に出ていきたい」…10.9%
20	UIターン検討時の島根県に対するイメージ [イメージある・なしは単一回答、具体的イメージは自由記述]	<ul style="list-style-type: none"> 「島根県に対するイメージがある」…55.0%、 「島根県に対するイメージが特にない」…38.8% 「島根県に対するイメージがある」と回答した人のうち、 具体的イメージ… 「過疎、人口が少ない、田舎」…34.3%、 「自然が豊か(海、湖、山)」…20.4%、 「穏やか、のどか、時間がゆったり、住みやすい」…15.3% (複数回答)
21	UIターン者確保や観光誘客促進のPR方法 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「食べ物がおいしい」…41.1%、 「神話・神々の地のイメージ」…33.3%、 「穏やかでゆったりとした生活ができる」が31.8%
22	現在の地域への定住継続意向と移りたい理由 [複数回答]	<p>■居住継続意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ずっと暮らし続けたい」…52.3%、 「当面は住むがいずれ移りたい」…17.4%、 「他地域へ移りたい」…5.4%、「どちらともいえない」…23.6% <p>■移りたい理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生活の利便性向上(買物、通院等)」…40.7%、 「仕事の都合(転勤・転職)」…27.1%、 「収入を増やすため」…22.0%
23	UIターン情報の収集に利用した情報・サービス等 [単一回答]	<p>■利用したことがある(※1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「定住財団サイト「くらしまねっと」」…54.3%、 「自治体のホームページ」…41.4% 「家族・親族からの情報」…41.4% ※1 「何回も利用している」「1～2回利用している」の合計 <p>■認知度(※2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「定住財団サイト「くらしまねっと」」…67.1%、 「自治体のホームページ」…60.9%、 「UIターンフェアや相談会」…54.3% ※2 「何回も利用している」「1～2回利用している」「知っているが利用したことはない」の合計

24	UIターンする際受けた支援制度 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none">「支援は受けていない」…45.3%、 「相談窓口への相談(UIターンフェアや相談会、空き家バンクへの相談含む)」…40.3%、「就職時の助成金」…13.6%
----	---------------------------	--

第3章

関心層

U I ターン希望者への調査1
(島根県へのU I ターン検討者)

第3章 関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

3-1. 調査結果

(1)調査の概要

項目	内容
調査手法	調査票郵送
調査期間	平成29年2月14日(火)～平成29年3月17日(金)
発送数	3,034(宛て所不明25件、無効票6件を除く)
回収数(回収率)	604(19.9%)

(2)回答者属性

項目	概要
対象	定住財団に情報登録している県外在住者
性別	「男性」…62.3%、「女性」…24.2%
年齢	「30代」…21.5%、「40代」…21.2%、「70歳以上」…16.7%
現住所	「東京都」…16.7%、「大阪府」…14.2%、「広島県」…12.4%
UIターン別	「Uターン」…57.3%、「Iターン」…37.7%、「無回答」…5.0% ※「Iターン」の出身地は「大阪府」…7.1%、「東京都」…5.6%

(3)単純集計結果のポイント

No.	項目	概要
1	回答者属性(性別、年齢、現住所、出身地) [単一回答]	※2)回答者属性に反映
2	島根県との関係 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事や旅行等で頻繁に訪れたことがある」…37.3%、 「ほとんど訪れたことがない」…29.4%、 「自分の出身地ではないが、親や家族の出身地である」…28.9%
3	島根県に対するイメージ [イメージある・なしは単一回答、具体的イメージは自由記述]	<ul style="list-style-type: none"> 「島根県に対するイメージがある」…77.5%、 「島根県に対するイメージが特にならない」…8.8% 「イメージがある」と回答した人のうち、具体的イメージは「自然が豊か(海、湖、山)」…30.6%、 「穏やか、のどか、時間がゆったり、住みやすい」…20.7%、 「過疎、人口が少ない、田舎」…19.2% (複数回答)
4	現在同居している家族と子どもの年齢 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「配偶者」…62.3%、「子ども」…37.1%、「自分の親」…10.1% 子どものうち長子(長男・長女)の年齢は「18歳以上」…43.2%、「未就学児(0～5歳)」…29.1%、「小学生」…13.2%

5	UIターンを考えるようになった動機 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「自分(又は親・祖父母)の出身地だから」…44.7%、 「田舎暮らしへの憧れ」…30.3%、 「都会の生活に疲れたから」…20.0%
6	UIターン後の生活を考える上での期待度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て) [期待は単一回答] [重視した項目は複数回答(最大2つ)]	<p>※記載内容の説明 各項目の期待値・満足度については、回答の選択肢「どちらでもない=3ポイント」を基準とし、平均点の高低により記載している。 1(低い) < 基準3 < 5(高い)</p> <p>■仕事に関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高いのは「職場の雰囲気・人間関係」「勤務地」「仕事の内容」など 期待値が基準値より低いのは「昇給・昇進」「給与」「研修やキャリア制度」など <p>(2) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仕事の内容」…40.7%、 「職場の雰囲気・人間関係」…24.3%、 「給与」…23.5% <p>■生活環境に関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高いのは「自然環境に恵まれた生活」「食べ物、水がおいしい」「治安の良さ」など 期待値が基準値より低いのは「交通の便が良い(公共交通機関等)」「都市部に近いレベルの生活環境」「交通費が安い」など <p>(2) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自然環境に恵まれた生活」…31.1%、 「田舎暮らし(スローライフ)」…18.9%、 「食べ物、水がおいしい」…13.9% <p>■医療福祉、教育、子育てに関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高いのは「都会にはない子育ての環境がある(自然の中で育つ)」「都会にはない子育ての環境がある(地域社会の中で育つ)」「子どもの人間力形成により影響がある」など 期待値が基準値より低いのは「子どもに通わせたい小中学校がある」「子どもに通わせたい高校がある」「自分の価値観に合う結婚相手・パートナーが見つかる」など

		<p>(2) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「医療機関の数や医療レベルの充実」…36.1%、 「医療機関へのアクセス」…28.5%、 「都会にはない子育ての環境がある(自然の中で子どもが育つ環境等)」…19.5%
7	今後のUIターン意向 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「絶対にUIターンしたい」…10.3%、 「できるならUIターンしたい」…31.0%、 「どちらともいえない」…12.1%、 「まだUIターンする可能性は低い」…18.2%、 「今のところUIターンするつもりはない」…17.2%
8	UIターンする際の不安 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「収入が見通しの通りいくか」…53.5%、 「希望に合う就職先があるか」…52.2%、 「医療、福祉サービスの状況」…45.9%
9	現在及びUIターン後に希望する就学・雇用形態、業種と勤続年数 [単一回答]	<p>■就学・雇用形態</p> <p>(1) 現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 「会社員(正規)」…43.5%、 「会社員(派遣・嘱託・契約)」…10.6%、 「パート・アルバイト」…8.9% <p>(2) UIターン後の希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 「会社員(正規)」…43.5%、 「会社員(派遣・嘱託・契約)」…8.9%、 「自営業」…8.9% <p>■業種</p> <p>(1) 現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 「製造業」…10.9%、 「サービス業(他に分類されないもの)」…9.4%、 「医療、福祉」…8.1% <p>(2) UIターン後の希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 「サービス業(他に分類されないもの)」…9.6%、 「農林水産業」…8.4%、「医療・福祉」…7.9% <p>■勤続年数</p> <ul style="list-style-type: none"> 「20年以上」…22.2%、 「5年～10年未満」…11.8% 「10年～15年未満」…11.8%

関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

10	現在及び UI ターン後に希望する世帯年収 [単一回答]	(1) 現在 <ul style="list-style-type: none"> 「500～699 万円」…17.1%、「300～399 万円」…15.1%、「700～999 万円」…13.9% (2) UIターン後の希望 <ul style="list-style-type: none"> 「300～399 万円」…21.7%、「500～699 万円」…17.9%、「400～499 万円」…17.5%
11	現在及び UI ターン後に希望する住居形態 [単一回答]	(1) 現在 <ul style="list-style-type: none"> 「賃貸アパート・マンション」…32.9%、「新築持ち家（一戸建て）」…17.5%、「分譲マンション」…14.7% (2) UIターン後の希望 <ul style="list-style-type: none"> 「特にこだわりはない」…17.9%、「中古持ち家（一戸建て）」…16.2%、「親の家」…15.6%
12	現在の近所付き合いの程度 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」…34.9%、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」…25.2%、「地域活動、公民館活動等を通じて積極的に付き合っている」…12.3%
13	UI ターン後の近所付き合い意向 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「現在よりも、お祭りなど行事には参加していきたい」…38.2%、「現在の付き合い程度で良い」…25.8%、「現在よりも、地域活動（自治会等）に積極的に出ていきたい」…21.5%
14	UI ターンを検討するにあたり困っていることや不便を感じていること、特に困っていることや不便を感じる事 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「自分が望む業種の求人がどれだけあるか分からない」…40.2%、「仕事情報の不足」…33.1%、「病院・診療所等、医療機関数や医療レベルの状況が分からない」…32.8%
15	UI ターン情報の収集に利用した情報・サービス等 [複数回答]	<p>■利用したことがある(※1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「定住財団サイト「くらしまねっと」」…50.5%、「定住財団や自治体等が発行する情報誌」…47.7%、「UIターンフェアや相談会」…38.5% <p>※1 「何回も利用している」「1～2 回利用している」の合計</p>

		<p>■認知度(※2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「定住財団サイト「くらしまねっと」…72.9%、 「UIターンフェアや相談会」…66.1%、 「定住財団や自治体等が発行する情報誌」…63.9% <p>※2 「何回も利用している」「1～2回利用している」「知っているが利用したことはない」の合計</p>
16	<p>島根県、定住財団が実施する情報・サービスの満足度</p> <p>[複数回答]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 『満足※』と回答したのは 「定住財団サイト「くらしまねっと」…78.0%、 「島根県サイト「しまね留学ホームページ」…73.9%、 「定住財団が発行する情報誌」…68.0% <p>※「とても満足」と「概ね満足」の合計</p>
17	<p>UIターナーの確保や観光誘客の促進に向けたPR方法</p> <p>[複数回答]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「穏やかでゆったりとした生活ができる」…49.7%、 「食べ物がおいしい」…45.0%、 「豊かな自然に親しんだ生活ができる」…41.6%

第4章

低関心層

U I ターン希望者への調査2 (都市部在住のU I ターン検討者)

第4章 低関心層「UIターン希望者への調査2（都市部在住のUIターン検討者）」

4-1. 調査結果

(1)調査の概要

項目	内容
調査手法	インターネット調査 ・サンプル抽出条件 ①年齢:18～74歳 ②地域:首都圏(東京、千葉、神奈川、埼玉) 名古屋圏(岐阜、愛知) 関西圏(京都、大阪、兵庫) 九州圏(福岡県) ※各対象地域の人口配分に合わせて回収数調整 ③UIターンに関心がある方 ※UIターン先は島根県に限らない
調査期間	平成29年3月14日(火)～平成29年3月16日(木)
調査依頼数	1,502
回収数(回収率)	1,066(71.0%)

(2)回答者属性

項目	概要
性別	「男性」…56.8%、「女性」…43.2%
年齢	「30-39歳」…23.2%、「40-49歳」…22.8%、「20-29歳」…16.1%
現住所	「東京都」…16.5%、「大阪府」…10.8%、「神奈川県」…10.4%
UIターン別	「Iターン」…100% ※島根県出身者が0人のため

(3)単純集計結果のポイント

No.	項目	概要
1	回答者属性(性別、年代、出身地) [単一回答]	※ 2)回答者属性に反映
2	出身地が島根県の場合の市町村名 [単一回答]	・ 該当者なし ※2)回答者属性に反映
3	現在同居している家族と子どもの年齢 [複数回答]	・ 「配偶者」…55.2%、「子ども」…36.1%、 「誰も同居していない」…22.4% ・ 子どものうち長子(長男・長女)の年齢は 「18歳以上」…40.8%、「未就学児」…23.4%、 「小学生」…19.5%

4	<p>職業、職種、勤続年数 [単一回答]</p>	<p>■職業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「会社員(正社員)」…38.3%、 「パート・アルバイト・フリーター」…13.0%、 「専業主婦(主夫)」…11.6% <p>■職種</p> <ul style="list-style-type: none"> 「製造業」…15.0%、 「サービス業(他に分類されないもの)」…11.1%、 「卸売業・小売業」…10.4% <p>■勤続年数</p> <ul style="list-style-type: none"> 「5年～10年未満」…20.0%、「20年以上」…18.7%、 「10年～15年未満」…13.0%
5	<p>UIターンに興味を持つようになったきっかけ [複数回答]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「田舎暮らしへの憧れ」…36.3%、 「自分(又は親・祖父母)の出身地だから」…35.3%、 「親・兄弟などの介護のため」…11.7%
6	<p>今後のUIターン意向 [単一回答]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「絶対にUIターンしたい」…7.0%、 「できるならUIターンしたい」…35.8%、 「今のところUIターンするつもりはない」…28.0%
7	<p>UIターン後の生活を考える上での期待度と特に重視した項目(仕事、生活環境、医療福祉、教育・子育て) [期待は単一回答] [重視した項目は複数回答(最大2つ)]</p>	<p>※記載内容の説明 各項目の期待値・満足度については、回答の選択肢「どちらでもない=3ポイント」を基準とし、平均点の高低により記載している。 1(低い) < 基準3 < 5(高い)</p> <p>■仕事に関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高い項目はなかった ただし、0.1ポイント以内の範囲で「自分にあった仕事」「職場の雰囲気や人間関係」が基準点に近かった <p>(2) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分にあった仕事」…38.6%、 「労働状況が改善」…23.8%、 「職場の雰囲気や人間関係」…23.5% <p>■生活環境に関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての項目で期待値が基準値より高かった 中でも「ゆったりとした生活」「自然環境に恵まれた生活」「治安」が上位3項目だった

		<p>(2) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ゆったりとした生活」…54.3%、 「自然環境に恵まれた生活」…38.6%、 「適度な人間関係」…24.1% <p>■医療福祉、教育、子育てに関すること</p> <p>(1) UIターン前の期待</p> <ul style="list-style-type: none"> 期待値が基準値より高い項目はなかった 中でも高かったのは、「医療機関の数や医療レベルの充実」 <p>(3) 重視する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 「医療機関の数や医療レベルの充実」…41.1%、 「都会にはない子育て環境」…22.8%、 「子どもの人間力形成に良い影響」…20.1%
8	UI ターン後の仕事を考える上で重視すること [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 重視する項目で高い順から 「希望する地域であるかどうか」 「UI ターン前と同水準の収入が確保できるか」 「地域社会に貢献できる仕事であるかどうか」 「今の職業・業務が活かせるかどうか」
9	UI ターンについて必要だと感じている施策やご意見・ご感想 [自由記述]	<ul style="list-style-type: none"> 内容は資料編に記載
10	島根県との関係 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「訪れたことがない」…55.7%、 「仕事や旅行等で何度か訪れたことがある」…29.2%、 「自分の出身地ではないが、知人がいる」…9.4%
11	島根県に対するイメージ [イメージある・なしは単一回答、具体的イメージは自由記述]	<ul style="list-style-type: none"> 「島根県に対するイメージがある」…31.9%、 「島根県に対するイメージが特にない」…68.1% 「イメージがある」と回答した人のうち、具体的イメージは 「出雲大社」…30.0%、 「過疎、人口が少ない、田舎」…15.6%、 「自然が豊か(海・湖・山)」…13.5% (複数回答)
12	UI ターン候補地としての島根県への関心度 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「とても関心がある」…3.2%、 「ある程度関心がある」…17.6%、 「あまり関心がない」…33.4%、「全く関心がない」…34.9%、 「わからない」…10.9%
13	島根県への UI ターン意向 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> 「積極的に UI ターンしたい」…1.8%、 「場合によっては UI ターンしたい」…22.8%、 「あまり UI ターンしたいと思わない」…25.8%、 「全く UI ターンしたいと思わない」…35.3%、 「わからない」…14.4%

14	島根県で行われている UI ターン関連の取組に対する認知度 [複数回答]	<ul style="list-style-type: none"> • 「UIターンに関する総合相談窓口(ふるさと島根定住財団)」…5.3%、 「島根県のUIターン情報ポータルサイト「くらしまねっと」」…5.1%、 「空き家や住まい情報の相談窓口(島根県建築住宅センターやUIターン住宅情報サイト「ゆーあいしまね)」」…5.1%
15	島根県で行われている UI ターン関連の取組に対する役立ち度 [単一回答]	<ul style="list-style-type: none"> ■UIターンに関する総合相談窓口(ふるさと島根定住財団) • 38.6%が『役立つ』と回答 ■島根県のUIターン情報ポータルサイト「くらしまねっと」 • 38.8%が『役立つ』と回答 ■空き家や住まい情報の相談窓口(島根県建築住宅センターやUIターン住宅情報サイト「ゆーあいしまね」) • 42.0%が『役立つ』と回答 ■都市部で行うUIターン相談会やセミナー • 39.1%が『役立つ』と回答 ■無料職業紹介(UIターン希望者と島根県内企業とのマッチング) • 43.6%が『役立つ』と回答 ■産業体験(農林漁業や介護職を現地でお試し体験する際の滞在費支援) • 37.8%が『役立つ』と回答 ■しまね留学(島根県内の特色ある高校への県外からの入学生受け入れ) • 27.6%が『役立つ』と回答 ■婚活の相談窓口や支援(しまね縁結びサポートセンターやハッピーコーディネーターによる対応) • 28.3%が『役立つ』と回答 <p>※「大いに役立つ」と「まあ役立つ」の合計</p>

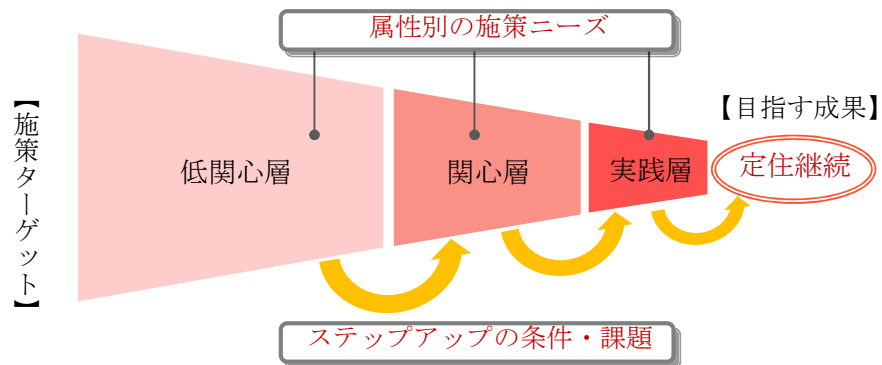
第 5 章 課題分析

第5章 課題分析

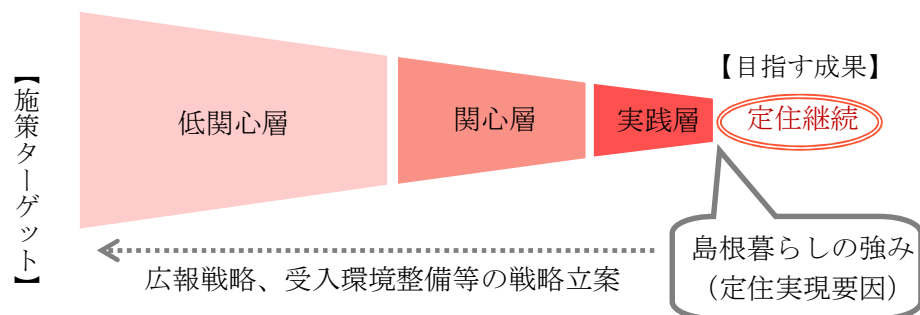
以下のイメージのもと、「低関心層（川上＝Web 調査）」「関心層（川中＝U I ターン希望者調査）」「実践層（川下＝U I ターン者調査）」のそれぞれで傾向を把握し、各層における課題やニーズを整理する。

同時に、そこから得られた課題やニーズを上流へフィードバックをすることで、広報戦略、受入環境整備等の戦略立案にも繋がると考える。ここでは、そのための基礎資料として整理をすることとした。

■目指すイメージ



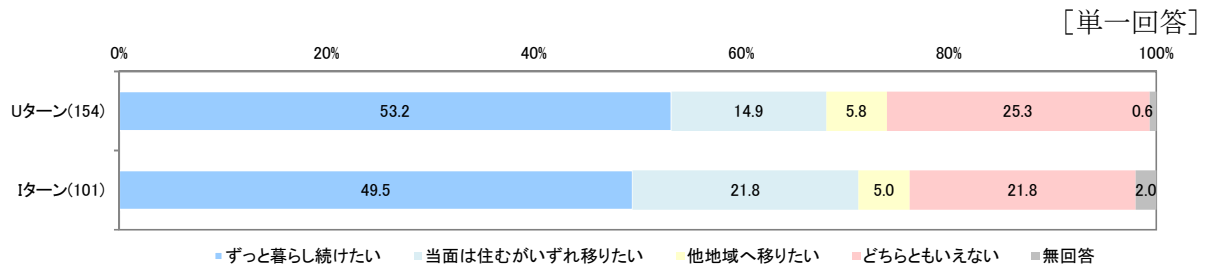
■施策検討イメージ



5-1-1. 実践層「U I ターン者への調査」

(1) 今後の定住意向について

① 定住意向

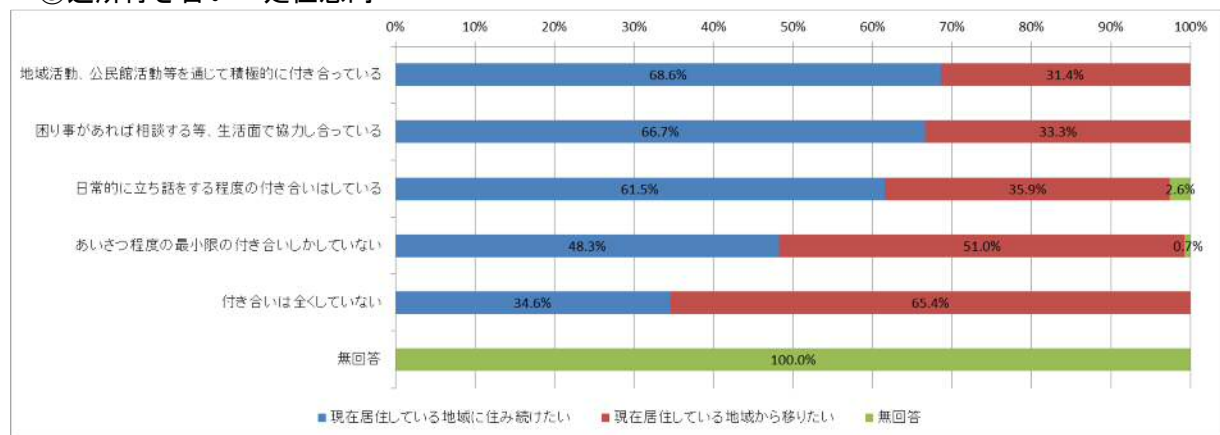


② 他地域へ移りたい理由

[複数回答]

	回答数	仕事の都合（転勤・転職）	生活の利便性向上（買物、通院等）	職場の人間関係の都合	地域の人間関係の都合	結婚のため	医療環境（病院等）が整った地域へ行くため	収入を増やすため	通勤条件を改善するため	子どもの進学による費用軽減のため	子どもの進学（学校教育、習い事など）のため	子どもの教育環境充実のため	子どもの進学または就職に伴うため	親や子世代との同居	（親等）家族から離れ、新たな住まいを設けるため	出身地等、馴染みのある土地に移りたい	島根に愛着が湧かない	その他	無回答
TOTAL	59	27.1	40.7	6.8	10.2	3.4	8.5	22.0	13.6	3.4	3.4	8.5	8.5	15.3	13.6	15.3	15.3	0.0	
Uターン-現在居住している地域から移りたい	32	28.1	43.8	9.4	12.5	3.1	12.5	25.0	18.8	6.3	6.3	6.3	9.4	25.0	9.4	0.0	12.5	0.0	
Iターン-現在居住している地域から移りたい	27	25.9	37.0	3.7	7.4	3.7	3.7	18.5	7.4	0.0	0.0	11.1	7.4	3.7	18.5	33.3	18.5	0.0	

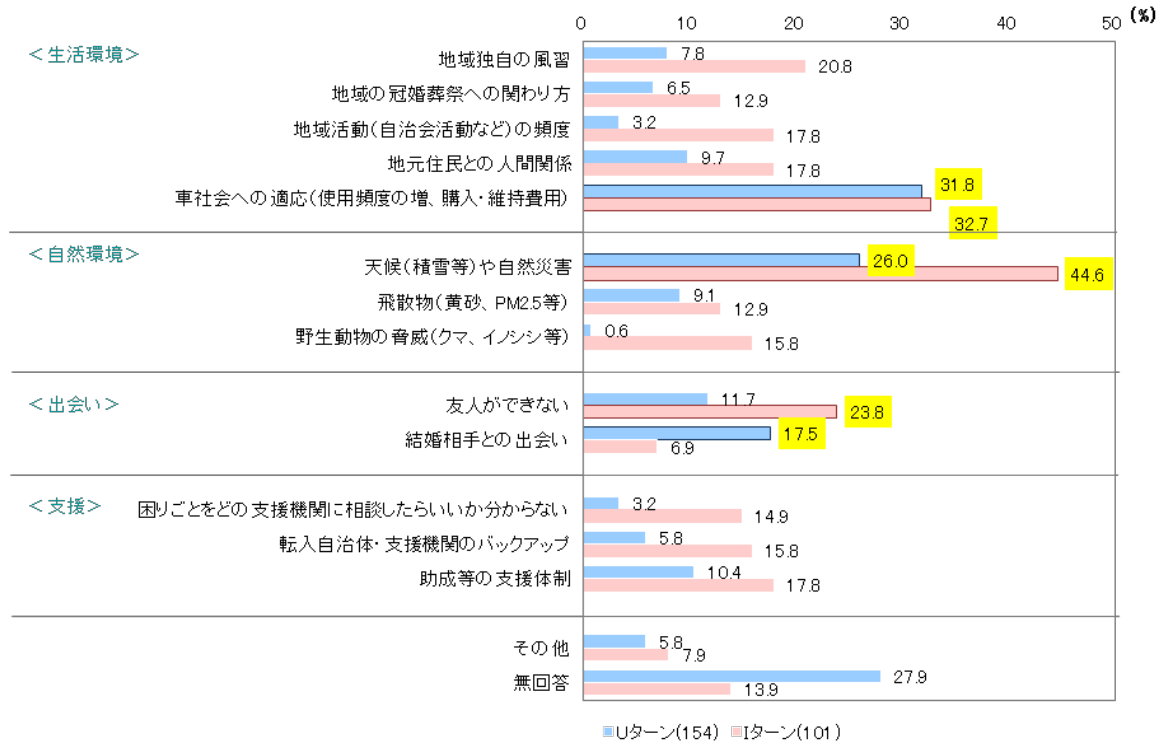
③ 近所付き合い×定住意向



- ・ U I ターンとも約半数は「ずっと暮らし続けたい」意向があるが、2割以上はいずれ他地域へ移りたいと回答。
- ・ 「他地域へ移りたい」と回答した理由として、「生活の利便性向上（買物、通院等）」、「仕事の都合（転勤・転職）」、「収入を増やすため」の割合が高かった
特に、Iターン者「島根に愛着が湧かない」が3割を超えている点が特徴的。
- ・ 傾向として、何かしらの近所付き合いをしている人ほど、定住意向の割合が高い。

(2) U I ターン後に不便に感じたこと

[複数回答]



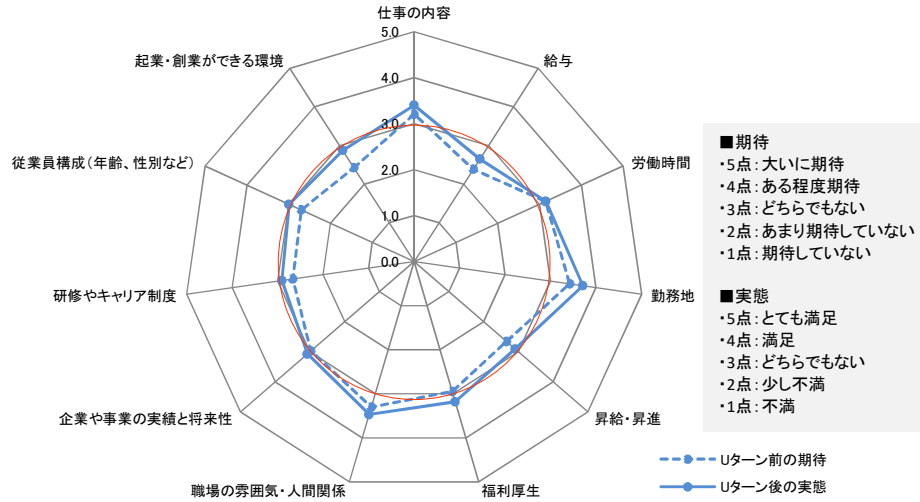
注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

- ・ U I ターン者とも、上位2項目は同じだが、Iターン者の方が全体的にどの項目でも高い割合を示している。
- ・ Uターン者は、車社会の適応や天候(積雪等)など、割合の高い項目があるものの、島根県の生活環境がある程度分かっているため、不便を感じたかどうかについては、割合が低い。
- ・ Iターン者については、<生活環境><自然環境><支援>を中心に割合が高く、地域との付き合い方やネットワーク作りなど、移住後のフォローが必要。

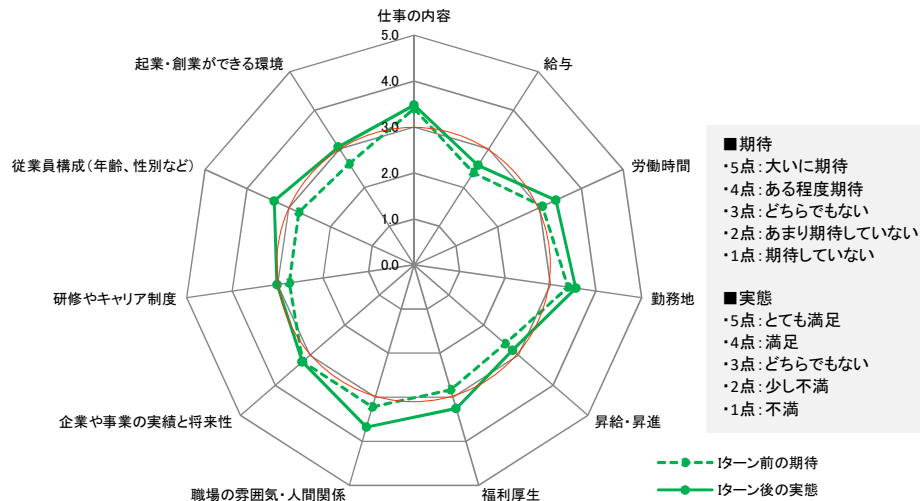
(3) U I ターン前の期待と実態

① 仕事に関すること

【U ターン者】



【I ターン者】



※点数の算出方法は、以下のとおり。

■期待

「大いに期待」を5点、「ある程度期待」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり期待していない」を2点、「期待していない」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

■実態

「とても満足」を5点、「満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「少し不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

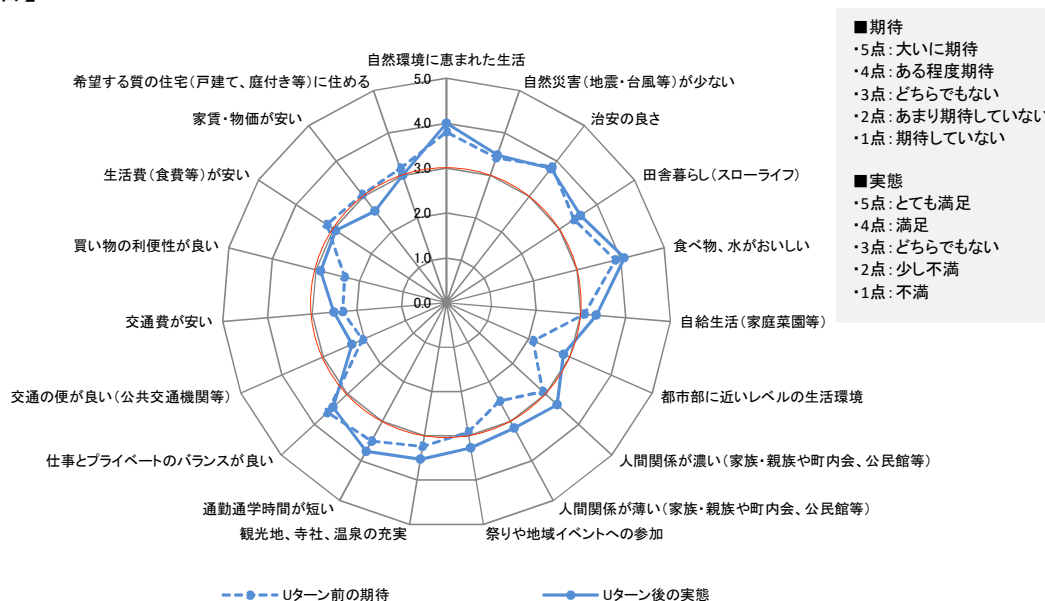
項目	Uターン者	Iターン者
実態が平均点より特に高い	<ul style="list-style-type: none"> • 仕事の内容 • 勤務地 • 職場の雰囲気・人間関係 	<ul style="list-style-type: none"> • 仕事の内容 • 労働時間 • 勤務地 • 福利厚生 • 職場の雰囲気・人間関係 • 従業員構成（年齢、性別など）
実態が平均点より特に低い	<ul style="list-style-type: none"> • 給与 	<ul style="list-style-type: none"> • 給与
「期待<実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> • 従業員構成（年齢、性別など） • 起業・創業ができる環境 	<ul style="list-style-type: none"> • 労働時間 • 福利厚生 • 職場の雰囲気・人間関係 • 研修やキャリア制度 • 従業員構成（年齢、性別など） • 起業・創業ができる環境
「期待>実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> • 特記なし 	<ul style="list-style-type: none"> • 特記なし

[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

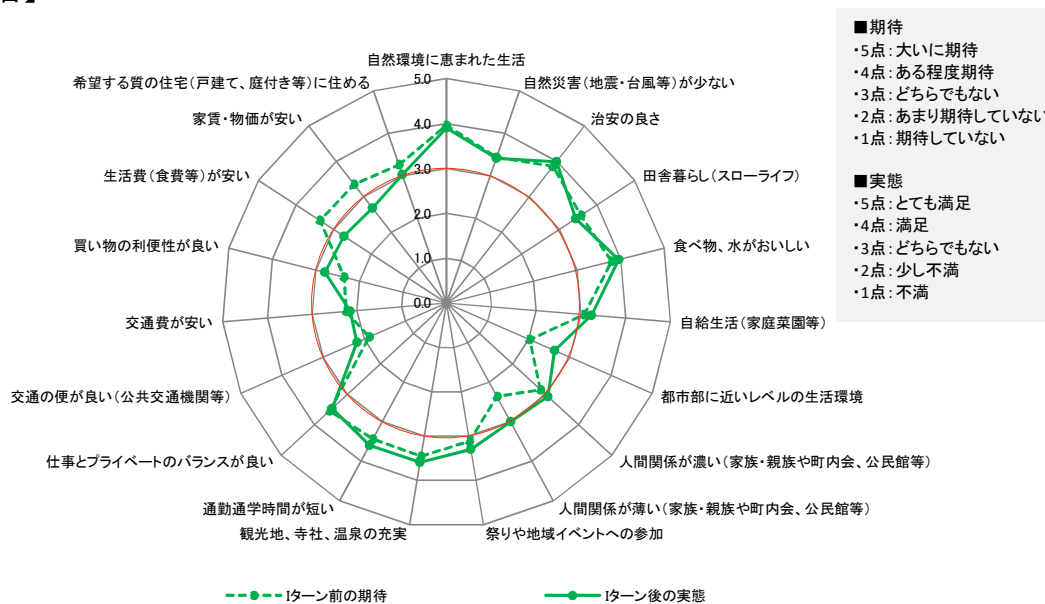
- ・ UIターンいずれも、給与への期待・満足度が低いものの、実態が上回っており、ある程度の減収は想定されていることがうかがえる。
- ・ Iターン者の場合、「期待<実態」のギャップが各項目で大きい。島根県の職場環境に対するイメージのせいも、もともとの期待値が低いことが要因。

②生活環境に関すること

【Uターン者】



【Iターン者】



※点数の算出方法は、以下のとおり。

■期待

「大いに期待」を5点、「ある程度期待」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり期待していない」を2点、「期待していない」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

■実態

「とても満足」を5点、「満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「少し不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

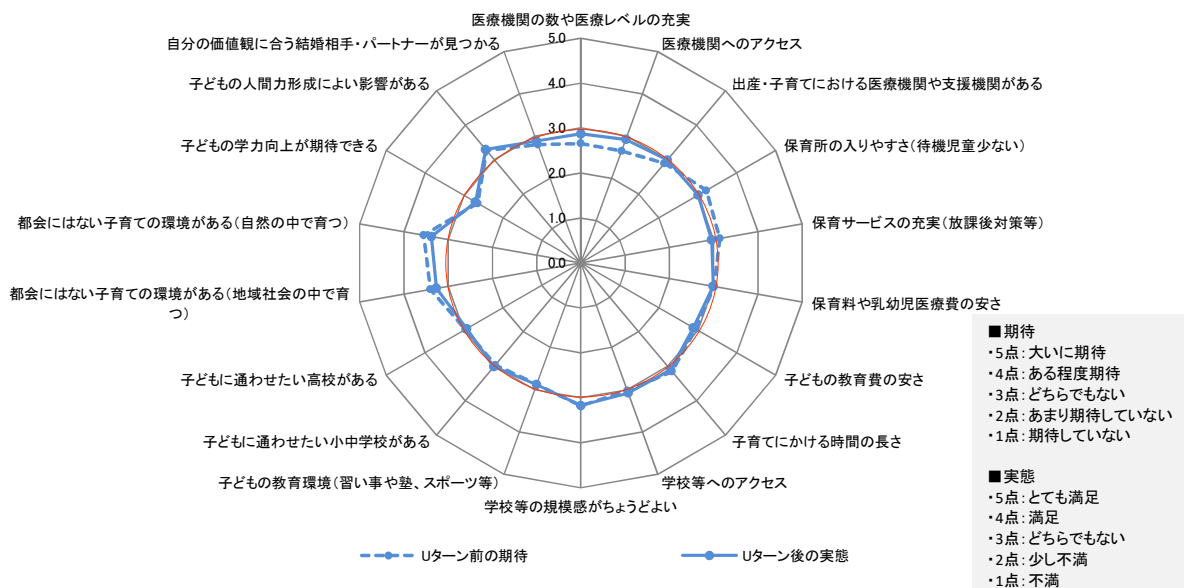
項目	Uターン	Iターン
実態が平均点より特に高い	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 自然災害（地震・台風等）が少ない 治安の良さ 田舎暮らし（スローライフ） 食べ物、水がおいしい 自給生活（家庭菜園等） 人間関係が濃い（家族・親族や町内会、公民館等） 祭りや地域イベントへの参加 観光地、寺社、温泉の充実 通勤通学時間が短い 仕事とプライベートのバランスが良い 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 自然災害（地震、台風等）が少ない 治安の良さ 田舎暮らし（スローライフ） 食べ物、水がおいしい 祭りや地域イベントへの参加 観光地、寺社、温泉の充実 通勤通学時間が短い 仕事とプライベートのバランスが良い
実態が平均点より特に低い	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便が良い（公共交通機関等） 交通費が安い 家賃・物価が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便が良い（公共交通機関等） 交通費が安い 生活費（食費等）が安い 家賃・物価が安い
「期待<実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が濃い（家族・親族や町内会、公民館等） 人間関係が薄い（家族・親族や町内会、公民館等） 祭りや地域イベントへの参加 買物の利便性が良い 	<ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が薄い（家族・親族や町内会、公民館等） 買物の利便性が良い
「期待>実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> 家賃・物価が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 生活費（食費等）が安い 家賃・物価が安い

[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

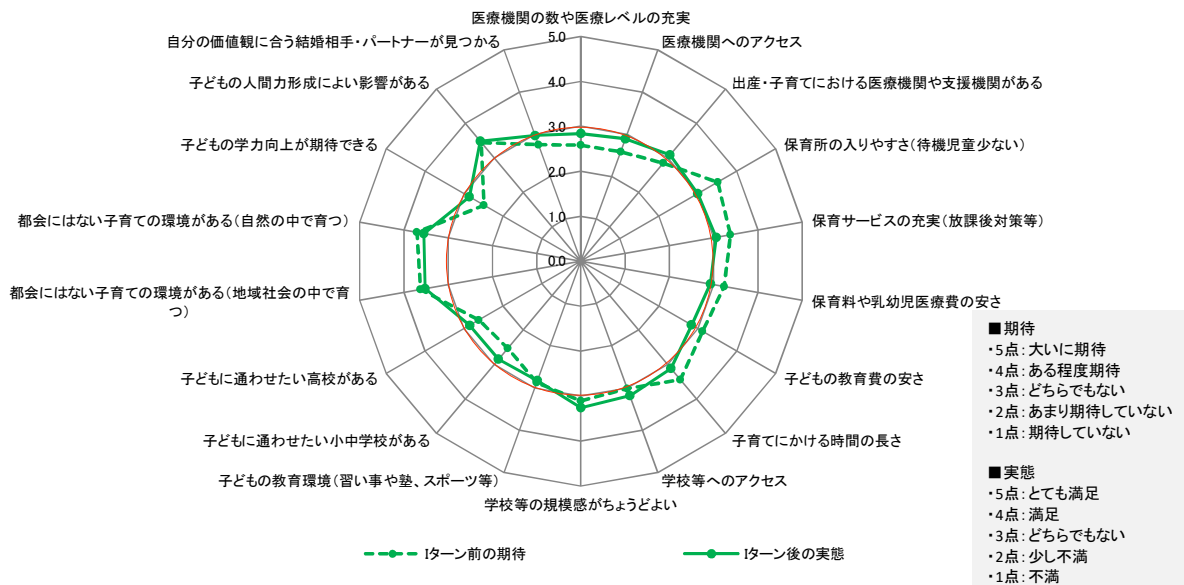
・U I ターン者ともに「期待<実態」のギャップが大きい項目として、都市部に近いレベルの生活環境が挙げられている。
 ・交通費の安さや、交通の便に対しては、期待値・満足度ともに基準値よりも著しく低い。
 ・また、「期待>実態」として、家賃・物価の安さや生活費の安さが挙げており、島根県の生活イメージを情報としての確に伝えきれていないことがうかがえる。

③医療福祉、教育・子育てに関すること

【Uターン者】



【Iターン者】



※点数の算出方法は、以下のとおり。

■期待

「大いに期待」を5点、「ある程度期待」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり期待していない」を2点、「期待していない」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

■実態

「とても満足」を5点、「満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「少し不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれを回答数で積算した合計値を回答数で除して算出した。

項目	Uターン	Iターン
実態が平均点より特に高い	<ul style="list-style-type: none"> • 都会にはない子育ての環境がある（地域社会の中で育つ） • 都会にはない子育ての環境がある（自然の中で育つ） • 子どもの人間力形成によい影響がある 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校等へのアクセス • 学校等の規模感がちょうどよい • 都会にはない子育て環境がある（地域社会の中で育つ） • 都会にはない子育て環境がある（自然の中で育つ） • 子どもの人間力形成によい影響がある
実態が平均点より特に低い	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの学力向上が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 特記なし
「期待<実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関へのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関の数や医療レベルの充実 • 医療機関へのアクセス • 出産・子育てにおける医療機関や支援機関がある • 自分の価値観に合う結婚相手・パートナーが見つかる
「期待>実態」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> • 特記なし 	<ul style="list-style-type: none"> • 保育所の入りやすさ（待機児童少ない） • 保育サービスの充実（放課後対策等） • 保育料や乳幼児医療費の安さ • 子どもの教育費の安さ • 子育てにかかる時間の長さ

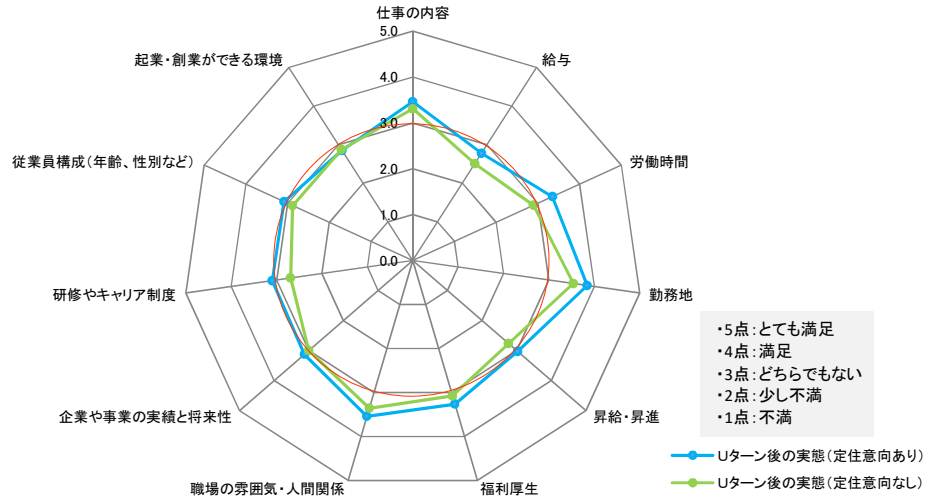
[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

- Uターン者は期待と実態のギャップが少ないのに対し、Iターン者はギャップを感じる項目がいくつも挙がっている。
- 特に、子育てに関する分野については、期待よりも実態の方が点数を下げており、情報発信や支援策における課題である。

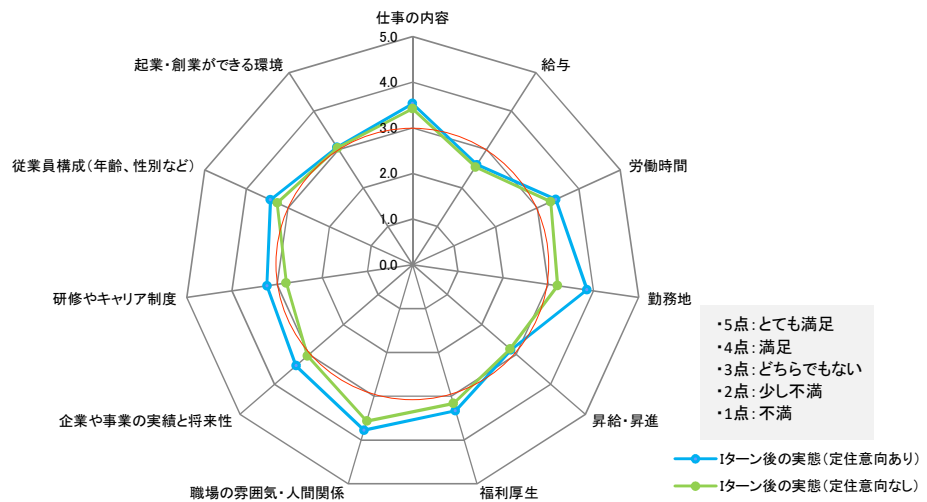
(3)定住意向者とそうでない者との実態差

①仕事に関すること

【U ターン者】



【I ターン者】



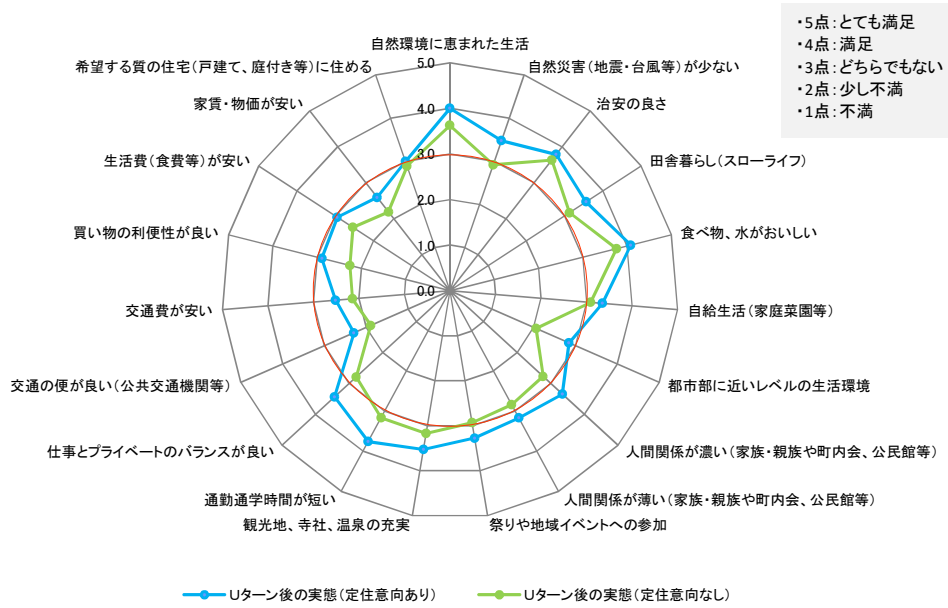
項目	Uターン	Iターン
定住意向なしの者の実態が平均点より特に低い	<ul style="list-style-type: none"> 給与 昇給・昇進 研修やキャリア制度 	<ul style="list-style-type: none"> 給与
「定住意向なしの者<定住意向ありの者」のギャップが特に大きい	<ul style="list-style-type: none"> 給与 労働時間 勤務地 昇給・昇進 研修やキャリア制度 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務地 起業や事業の実績と将来性 研修やキャリア制度

[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

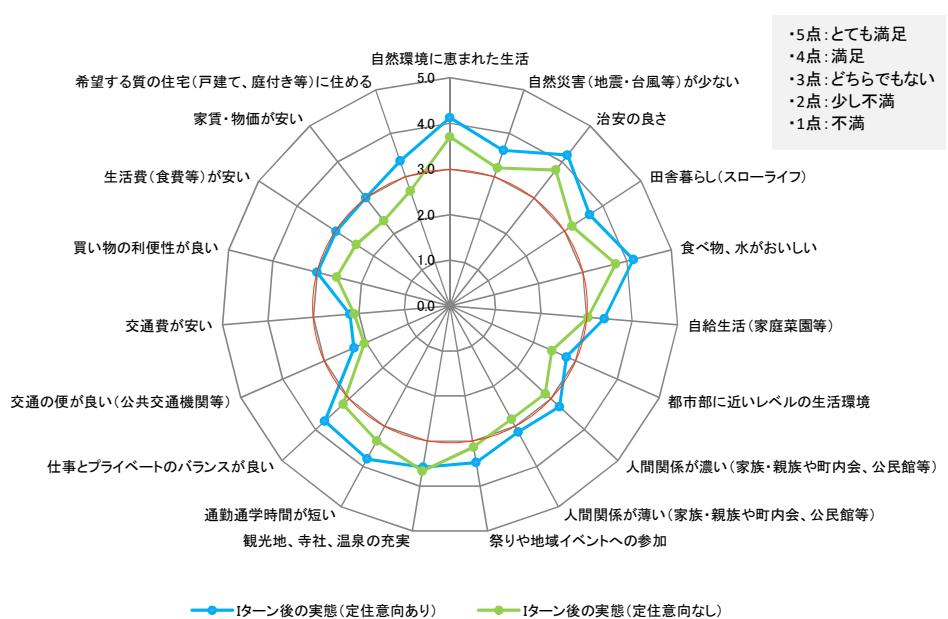
・ Uターンの方がIターン者に比べて、給与面の差が大きい。
 ・ Iターン者は勤務地のギャップが大きく、希望した地域かどうかを重視していると思われる。

②生活環境に関すること

【Uターン者】



【Iターン者】



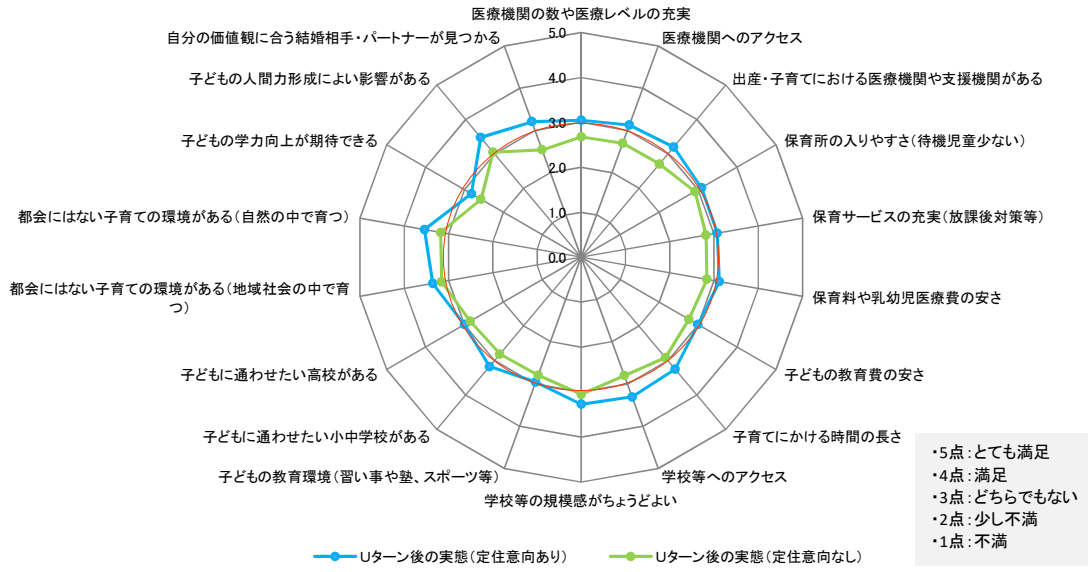
項目	Uターン	Iターン
<p>定住意向なしの者の実態が平均点より特に低い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が濃い(家族・親族や町内会、公民館等) 仕事とプライベートのバランスが良い 交通の便が良い(公共交通機関等) 交通費が安い 買物の利便性が良い 生活費(食費等)が安い 家賃・物価が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 交通の便が良い(公共交通機関等) 交通費が安い 買物の利便性が良い 生活費(食費等)が安い 家賃・物価が安い 希望する質の住宅(戸建て、庭付き等)に住める
<p>「定住意向なしの者<定住意向ありの者」のギャップが特に大きい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 自然災害(地震・台風等)が少ない 田舎暮らし(スローライフ) 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が濃い(家族・親族や町内会、公民館等) 人間関係が薄い(家族・親族や町内会、公民館等) 祭りや地域イベントへの参加 観光地、寺社、温泉の充実 通勤通学時間が短い 仕事とプライベートのバランスが良い 交通の便が良い(公共交通機関等) 交通費が安い 買物の利便性が良い 生活費(食費等)が安い 家賃・物価が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 自然災害(地震・台風等)が少ない 治安の良さ 田舎暮らし(スローライフ) 食べ物、水がおいしい 自給生活(家庭菜園等) 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が濃い(家族・親族や町内会、公民館等) 人間関係が薄い(家族・親族や町内会、公民館等) 祭りや地域イベントへの参加 通勤通学時間が短い 仕事とプライベートのバランスが良い 買物の利便性が良い 生活費(食費等)が安い 家賃・物価が安い 希望する質の住宅(戸建て、庭付き等)に住める

[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

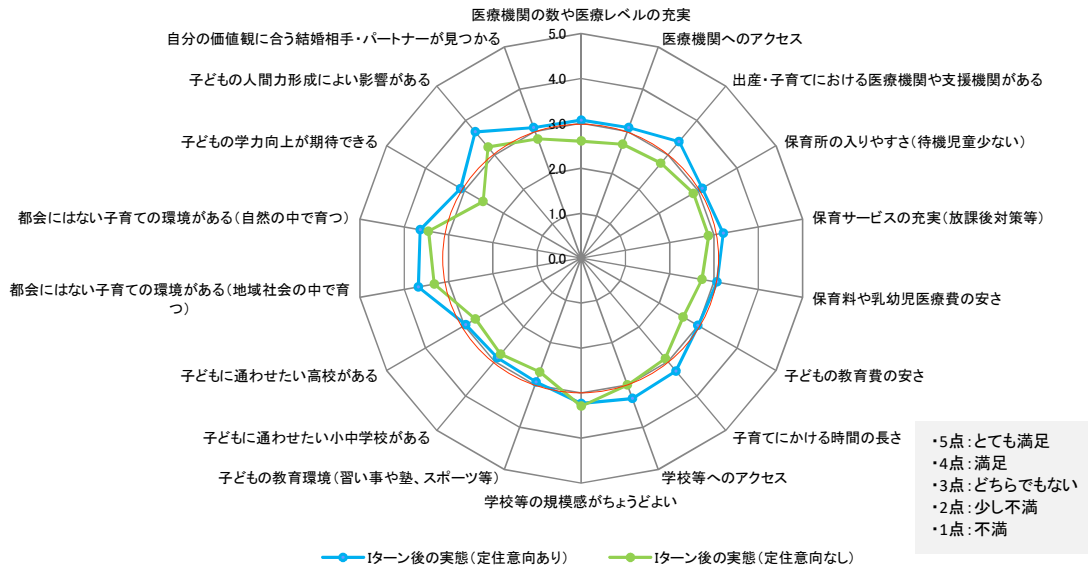
・U I ターン者ともに、定住意向の有無によって各項目でのギャップが大きい。
 ・特に生活費に関する項目については、定住意向のない場合の満足度が低い。

③医療福祉、教育・子育てに関すること

【Uターン者】



【Iターン者】



項目	Uターン	Iターン
<p>定住意向なしの者の実態が平均点より特に低い</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関の数や医療レベルの充実 • 医療機関へのアクセス • 出産・子育てにおける医療機関や支援機関がある • 子どもの学力向上が期待できる • 自分の価値観に合う結婚相手・パートナーが見つかる 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関の数や医療レベルの充実 • 医療機関へのアクセス • 保育料や乳幼児医療費の安さ • 子どもの教育費の安さ • 子どもの学力向上が期待できる
<p>「定住意向なしの者<定住意向ありの者」のギャップが特に大きい</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関の数や医療レベルの充実 • 医療機関へのアクセス • 出産・子育てにおける医療機関や支援機関がある • 子育てにかかる時間の長さ • 学校等へのアクセス • 都会にはない子育ての環境がある（自然の中で育つ） • 子どもの人間力形成による影響がある • 自分の価値観に合う結婚相手・パートナーが見つかる 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関の数や医療レベルの充実 • 医療機関へのアクセス • 出産・子育てにおける医療機関や支援機関がある • 保育サービスの充実（放課後対策等） • 保育料や乳幼児医療費の安さ • 子どもの教育費の安さ • 子育てにかかる時間の長さ • 学校等へのアクセス • 都会にはない子育ての環境がある（地域社会の中で育つ） • 子どもの学力向上が期待できる • 子どもの人間力形成による影響がある

[複数回答] ※重複部分を黄色で網掛け

- Uターン者とも、定住意向がある人の場合は、満足度が基準値よりも高く、大きく下回る項目はない
- 子どもの子育て環境にはある程度満足しているものの、「学力」になるとポイントが下がる点が課題

課題分析

関心層：U I ターン希望者への調査 1（島根県へのU I ターン検討者）

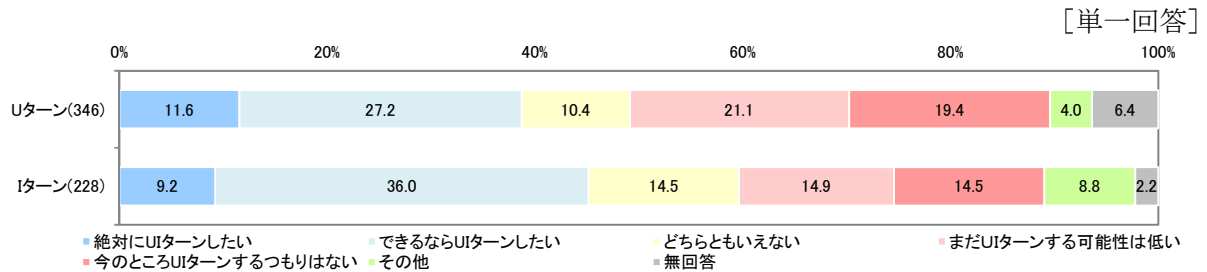
5-1-2. 関心層：U I ターン希望者への調査 1（島根県へのU I ターン検討者）

(1)島根県へのUIターン希望について

①UIターン希望

「U I ターンしたい※」と回答したのは、Uターン者よりも、Iターン者の方が高い。

※「絶対にU I ターンしたい」と「できるならU I ターンしたい」の合計



②UIターンの意向別

※「意向あり」…「絶対にU I ターンしたい」「できるならU I ターンしたい」の合計

「意向なし」…「どちらともいえない」「まだU I ターンする可能性は低い」

「今のところU I ターンするつもりはない」の合計

[単一回答]

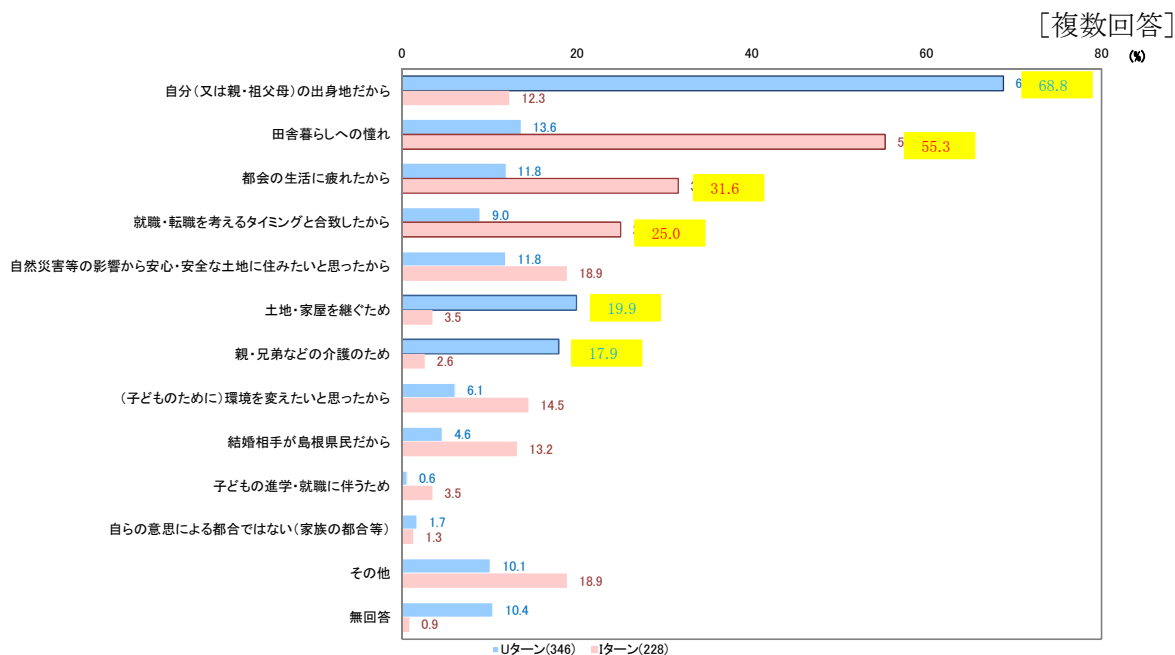
	回答数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
TOTAL(※)	604	0.0	6.1	①21.5	②21.2	16.2	15.7	③16.7	2.5
Uターン-意向あり	134	0.0	11.9	21.6	19.4	18.7	19.4	8.2	0.7
Uターン-意向なし	190	0.0	3.7	14.7	12.6	8.4	24.2	34.2	2.1
Iターン-意向あり	103	0.0	4.9	33.0	34.0	19.4	6.8	1.0	1.0
Iターン-意向なし	120	0.0	5.8	25.8	30.8	24.2	8.3	2.5	2.5

※全体数（604 件）はU I ターン別、意向別の意向なしおよび無回答を含むため、U I ターン別の意向あり、意向なしの合計数と一致しない。

課題分析

関心層：U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）

③UIターンを考えるようになった動機



注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

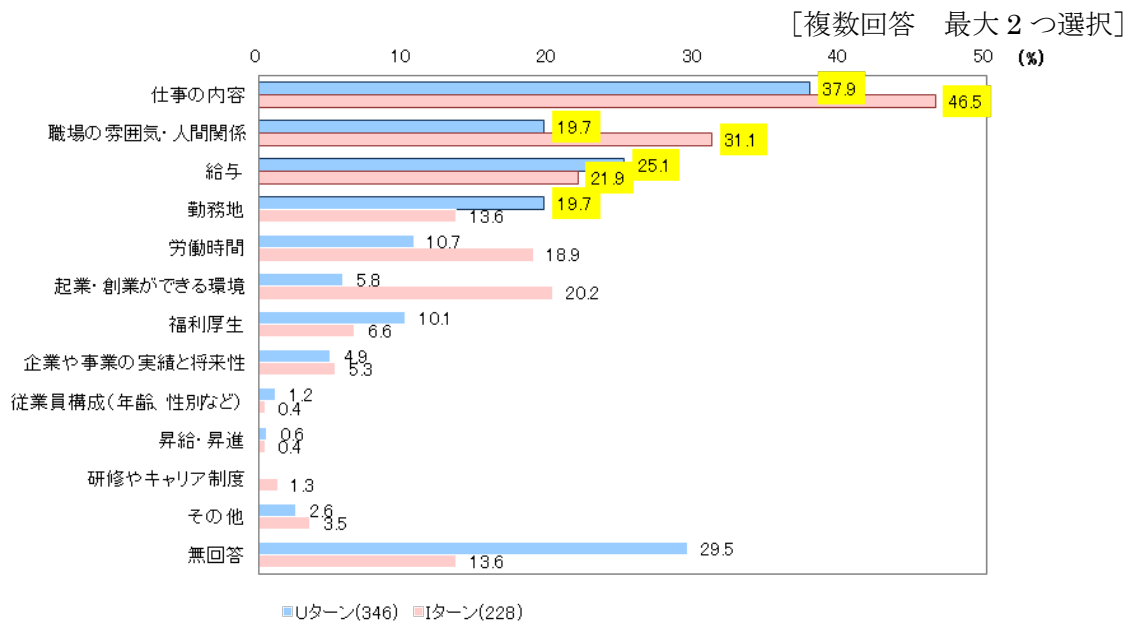
- ・ Uターン希望者は幅広い年代で検討する傾向があるのに対して、Iターン希望者の場合は、検討する年代の幅が限られている。
- ・ UIターンを検討し始めた動機として、Uターン希望者は「土地・家屋を継ぐため」「介護のため」の項目が高く、Iターン希望者の多くが「田舎暮らしへの憧れ」を動機としているのに対して、家庭の事情に関連した項目が高い。

課題分析

関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

(2)UIターン後の生活を考える上で重視する項目

① 仕事に関すること



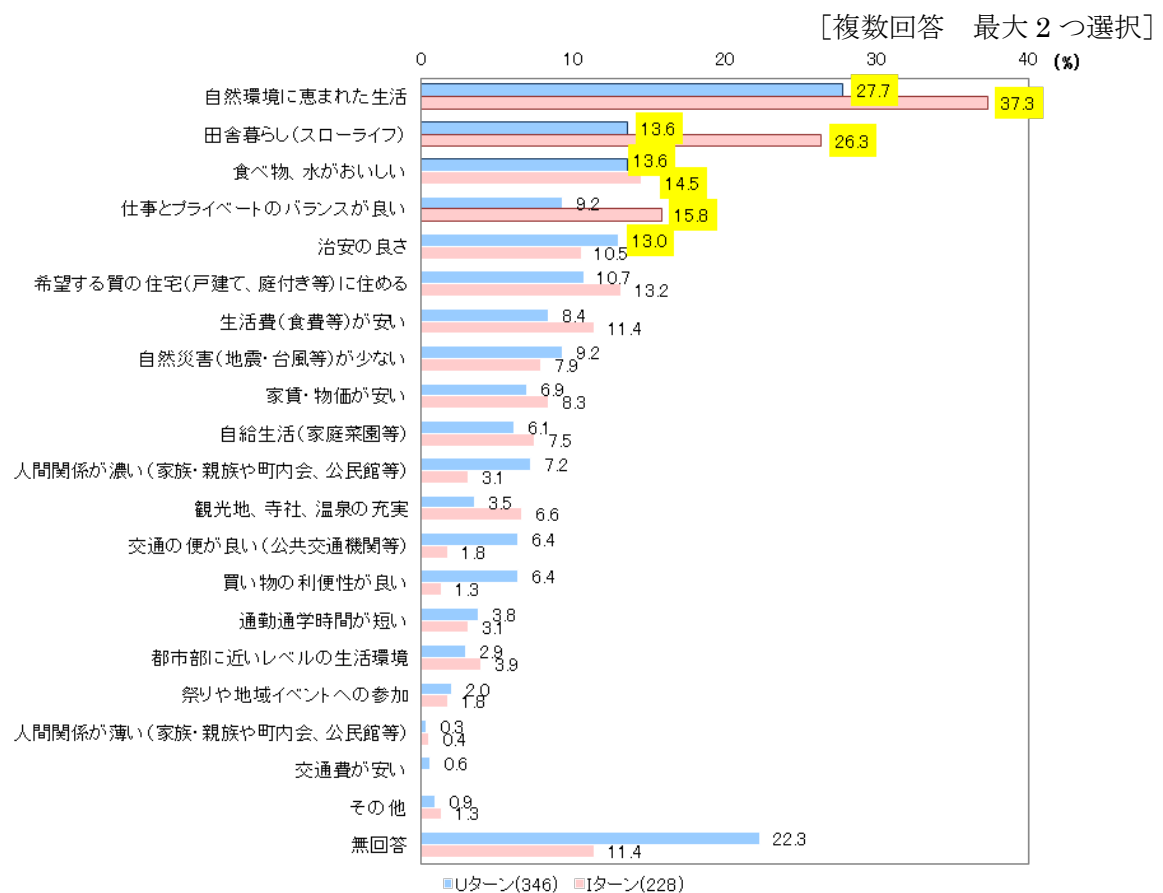
注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

- ・ UIターン者それぞれ割合の差はあるものの、上位の項目はほぼ同じ
- ・ Uターン者とIターン者の間で差異の大きい項目として「起業・創業ができる環境」があり、Iターン者は独立志向のある方が比較的多い傾向がうかがえる。

課題分析

関心層：U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）

②生活環境に関すること



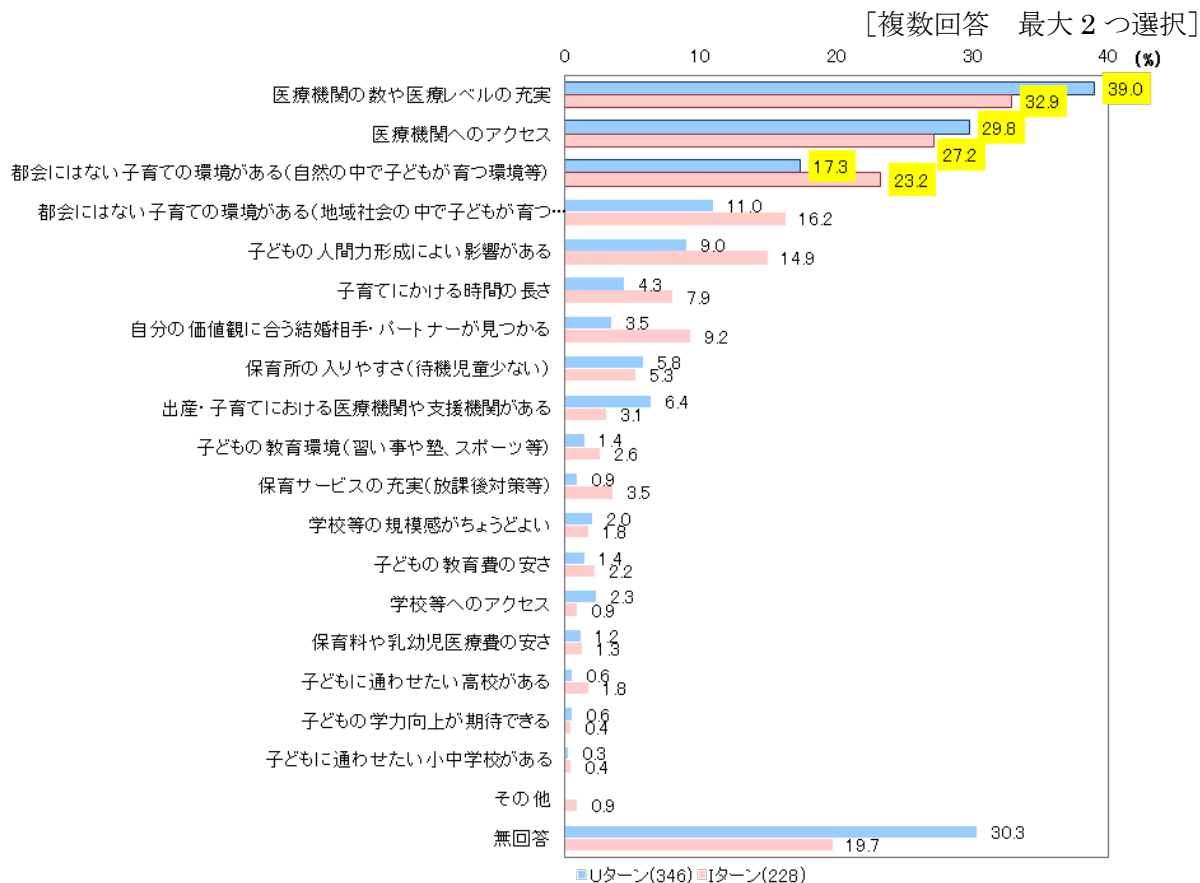
注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

- ・ Uターン者は交通の便や買い物の利便性の項目がIターン者よりも高く、現実的な生活実態をより重視する傾向がある。
- ・ Uターン者に比べて、Iターン者は「自然環境に恵まれた生活」「田舎暮らし(スローライフ)」の割合が高く、イメージ先行している可能性がある。

課題分析

関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

③医療福祉、教育・子育てに関すること



注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

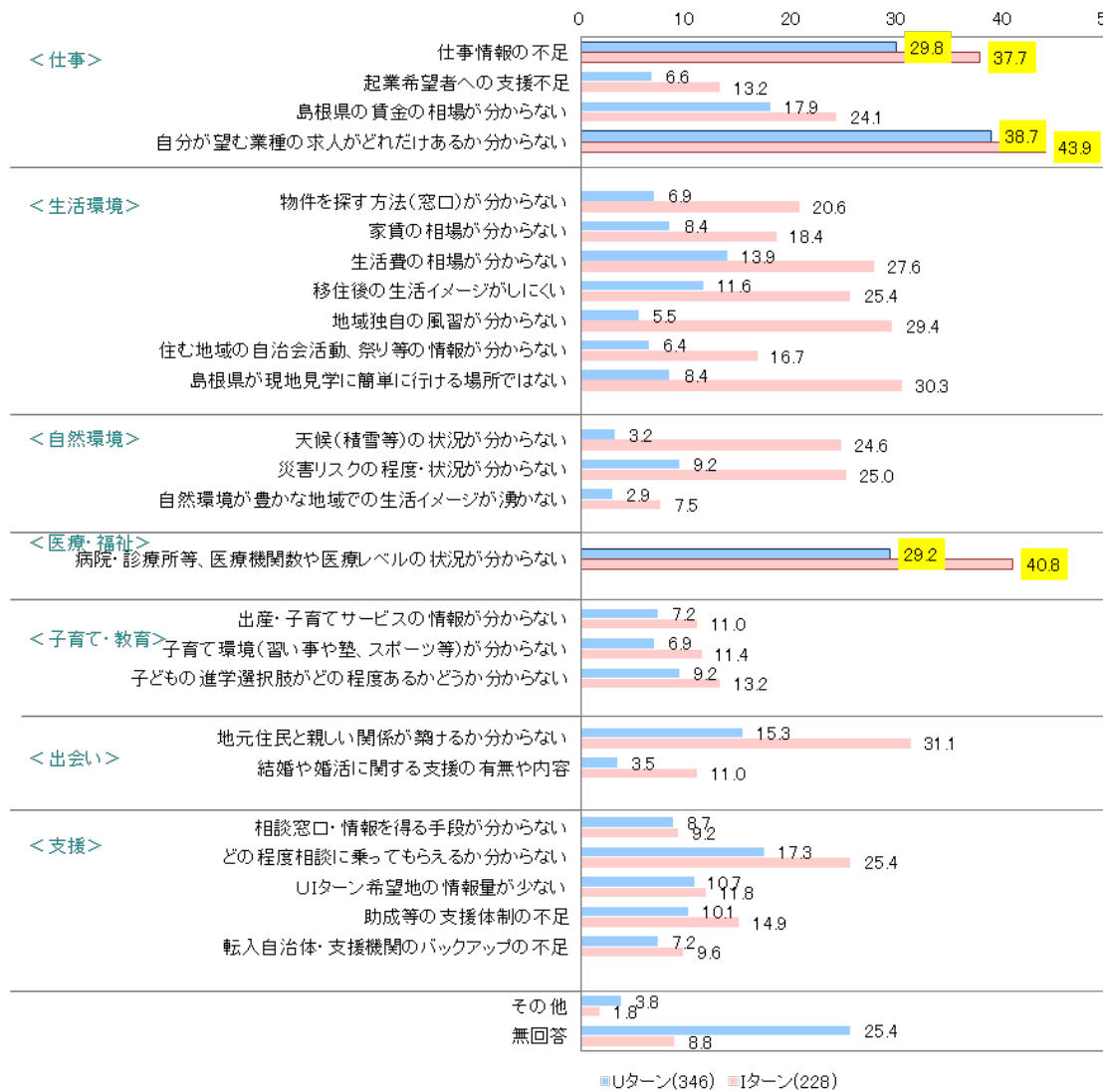
- ・ UIターン者とも、医療関係や子育てに関する項目の割合が高い
- ・ 特に、Iターンの方が子育て環境に関する項目の割合が高いものの、学力向上への期待度は他に比べて著しく低い。

課題分析

関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

(3)UIターンを検討する際に不便に感じていること

[複数回答]



注) グラフ中の黄色枠は、それぞれUターン者、Iターン者の上位3項目を表す。

- ・ UIターン者とも、上位3項目は同じで、仕事情報や医療関係など、生活に直結する情報を求めている傾向がある。
- ・ Iターン者の方が全体の割合が高く、様々な場面で生活環境をイメージしにくいことがうかがえる。

課題分析

関心層：U I ターン希望者への調査1（島根県へのU I ターン検討者）

(4)各種情報・サービスの利用状況・認知度

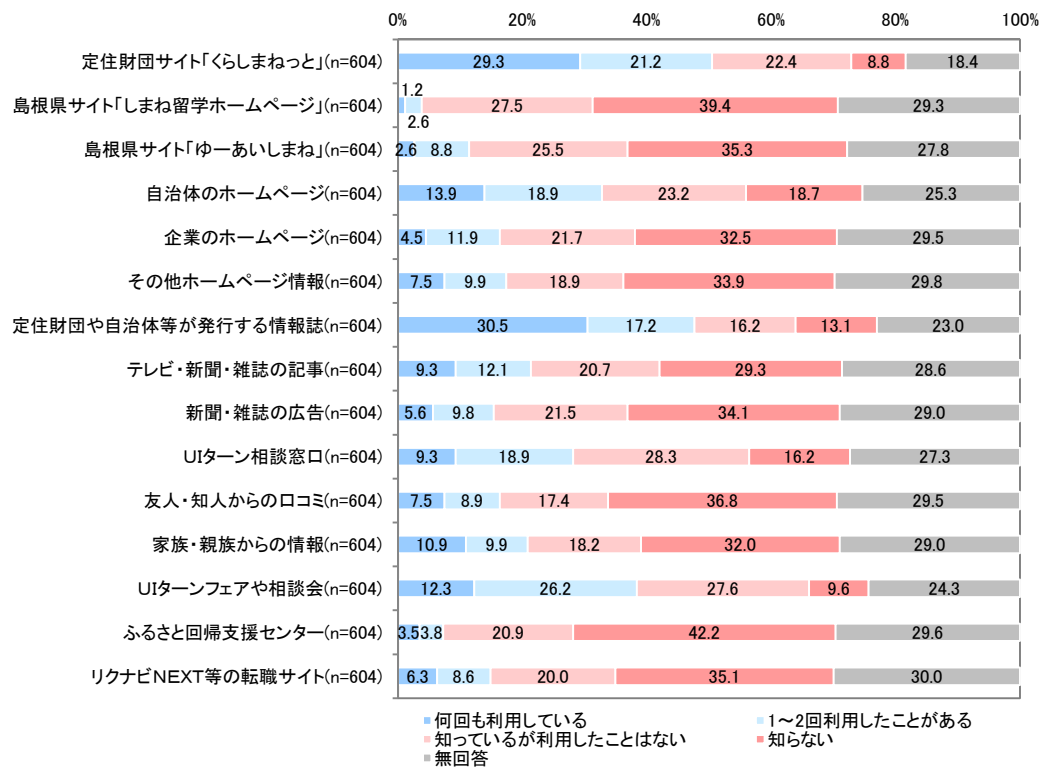
【全体】

[複数回答]

	利用したことがある	認知度
定住財団サイト「くらしまねっと」(n=604)	50.5	72.8
島根県サイト「しまね留学ホームページ」(n=604)	3.8	31.3
島根県サイト「ゆーあいしまね」(n=604)	11.4	36.9
自治体のホームページ(n=604)	32.8	56.0
企業のホームページ(n=604)	16.4	38.1
その他ホームページ情報(n=604)	17.4	36.3
定住財団や自治体等が発行する情報誌(n=604)	47.7	63.9
テレビ・新聞・雑誌の記事(n=604)	21.4	42.1
新聞・雑誌の広告(n=604)	15.4	36.9
U I ターン相談窓口(n=604)	28.1	56.5
友人・知人からの口コミ(n=604)	16.4	33.8
家族・親族からの情報(n=604)	20.9	39.1
U I ターンフェアや相談会(n=604)	38.4	66.1
ふるさと回帰支援センター(n=604)	7.3	28.1
リクナビNEXT等の転職サイト(n=604)	14.9	34.9
その他(n=604)	0.0	12.5

注)『利用したことがある』は、「何回も利用している」「1~2回利用したことがある」の合計

『認知度』は、「何回も利用している」「1~2回利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の合計



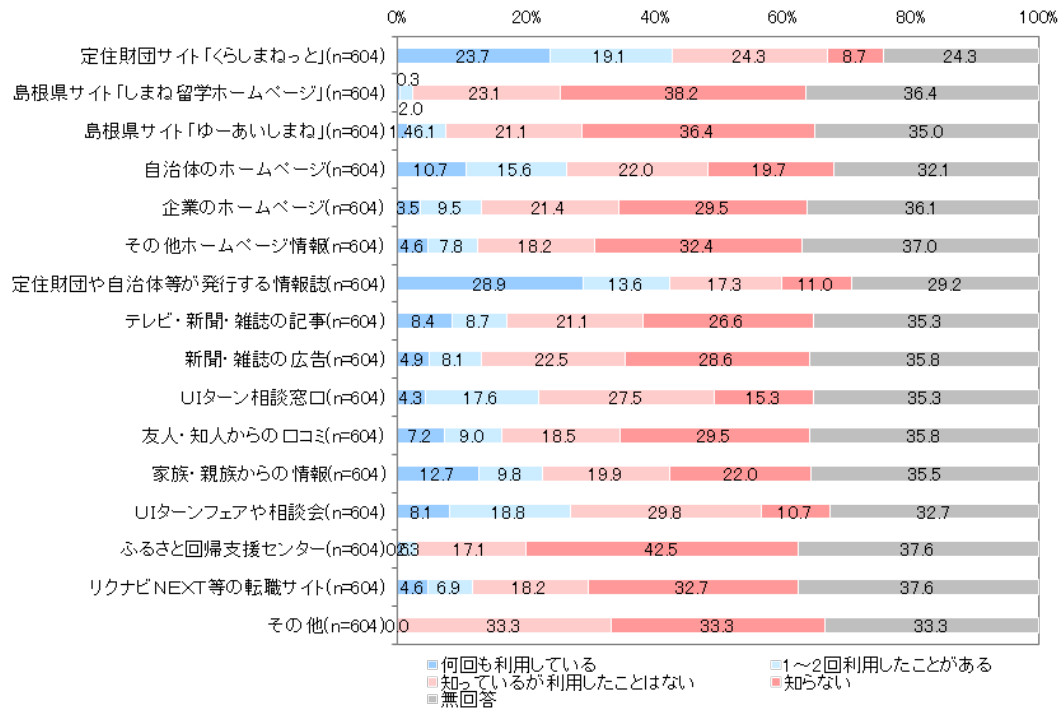
※用語

- ・くらしまねっと…島根県のU I ターン情報をまとめたポータルサイト
- ・しまね留学…島根県内の特色ある高校への県外からの入学生受け入れ
- ・ゆーあいしまね…島根県の空き家や住まいの情報サイト

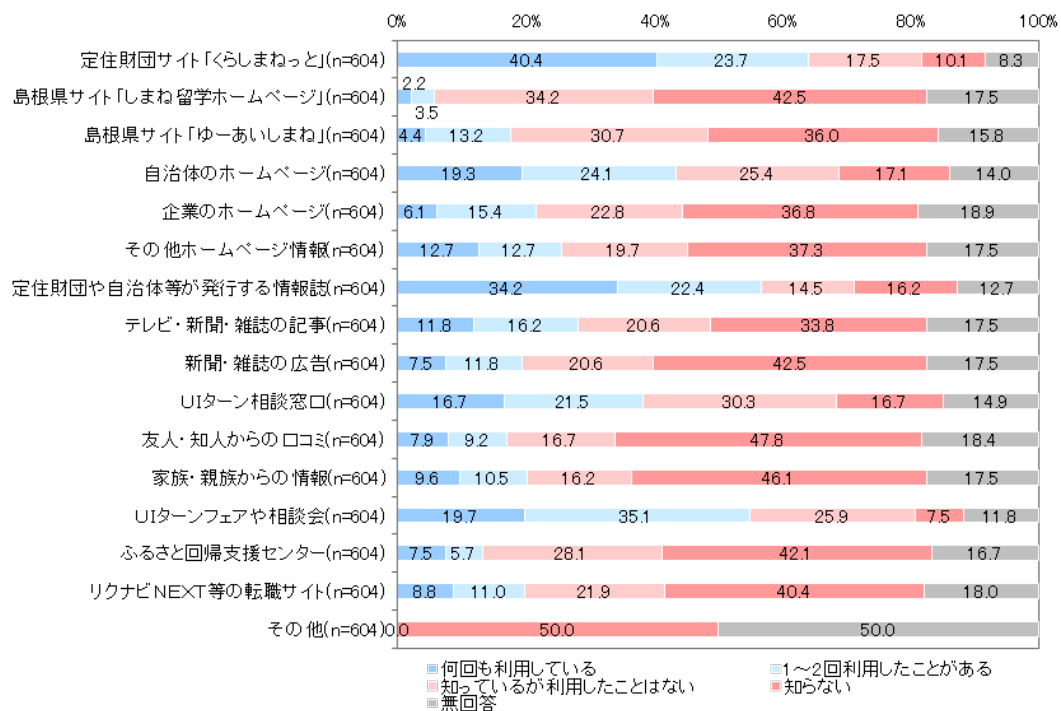
課題分析

関心層：UIターン希望者への調査1（島根県へのUIターン検討者）

【Uターン】



【Iターン】



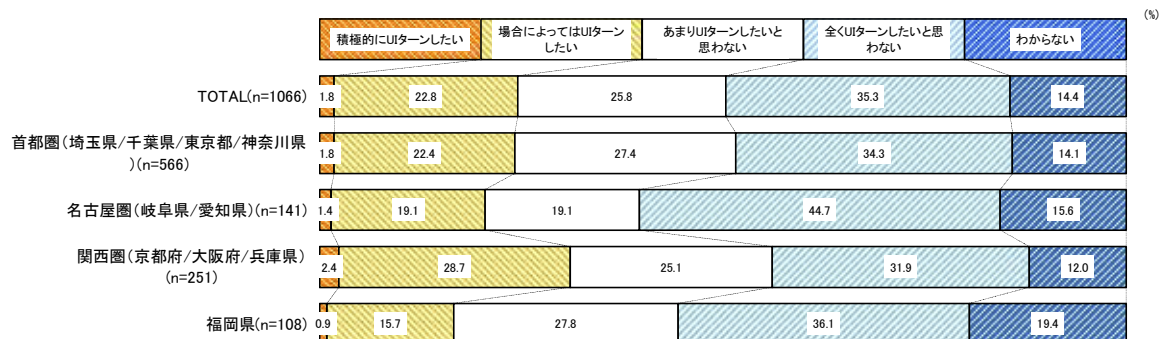
- ・ 認知度、利用状況とも『定住財団サイト「くらしまねっと』』が最も高く、サイトを充実させることで、島根県の移住定住の入口としての機能を果たすと思われる。
- ・ また、認知度や利用率をさらに上げ、ページ誘導を図ることで、市町村やその他の関連サイトへのアクセスも見込める可能性がある。
- ・ UIターン別にみると、Iターンの方がホームページなど各種サービスの利用率が高い。

5-1-3. 低関心層「UIターン希望者への調査2(都市部在住のUIターン検討者)」

(1)UIターン希望

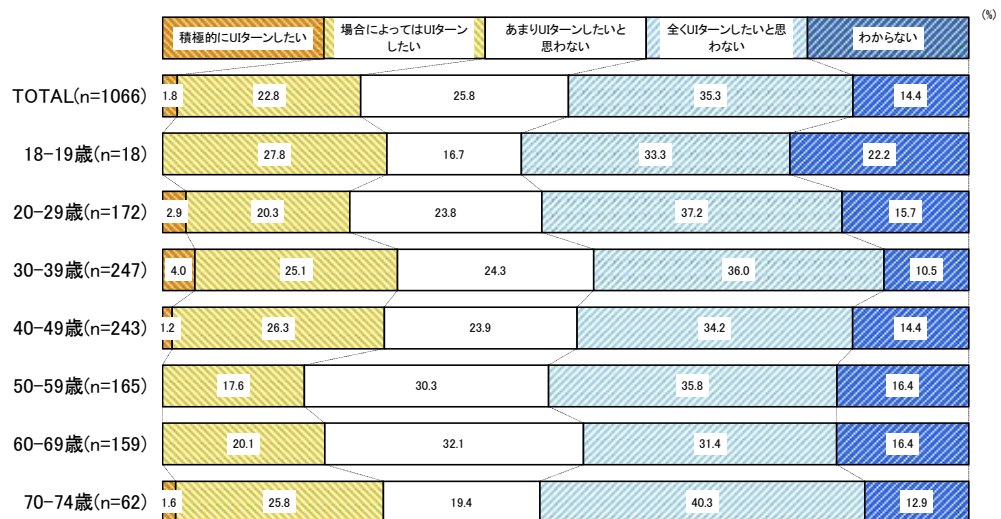
■地域別

[単一回答]



■年代別

[単一回答]



- ・ UIターンを考えたことがある人のうち、2割以上がUIターンを前向きに捉えていることが分かった。
※「積極的にUIターンしたい」と「場合によってはUIターンしたい」の合計
- ・ 一方で、各地域ごとに見ると地域差もあり、首都圏に比べて関西圏の方がUIターンを考える割合が高い。

(2)UIターンに興味を持つようになったきっかけ

※UIターン先は島根県に限らない

[複数回答]

		n=	田舎暮らしへの憧れ	都会の生活に疲れたから	自分（又は親・祖父母）の出身地だから	結婚相手の出身地だから	（子どものために）環境を変えたいと思ったから	自然災害等の影響から安心・安全な土地に住みたいと思ったから	親・兄弟などの介護のため	土地・家屋を継ぐため	就職・転職を考えるタイミングと合致したから	子どもの進学・就職に伴うため	自らの意思による都合ではない（家族の都合等）	その他 具体的に：
TOTAL	TOTAL	1,066	36.3	19.6	35.3	0.4	3.5	9.7	11.7	11.6	8.4	1.8	6.6	6.7
	18-19歳	18	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	27.8	5.6	5.6	5.6
	20-29歳	172	27.3	20.9	31.4	0.6	2.9	10.5	4.1	9.3	16.3	0.0	7.6	7.0
	30-39歳	247	32.4	24.7	38.5	0.4	4.9	8.9	12.6	11.7	10.1	2.0	6.5	5.7
	40-49歳	243	35.8	25.9	33.7	0.4	4.5	6.6	18.1	11.5	7.0	2.5	7.8	6.2
	50-59歳	165	43.0	13.9	30.9	0.0	3.0	12.1	13.9	12.7	4.2	2.4	5.5	4.2
	60-69歳	159	45.9	12.6	37.1	0.0	0.6	13.2	8.2	10.7	3.1	0.6	5.0	10.7
	70-74歳	62	37.1	6.5	46.8	1.6	4.8	8.1	11.3	17.7	4.8	3.2	6.5	8.1

- ・ 「田舎暮らしへの憧れ」を選択した割合が最も高く、幅広い年代に田舎のイメージがあることがうかがえる。
- ・ 20～40代では、「都会の生活に疲れた」の割合が高く、現状の暮らしに何かしらの不満を持っていることがうかがえる。

(3)UIターンをする上で重視する項目

①仕事に関すること

[複数回答 最大2つ選択]

		n=	収入の増加	キャリアアップ	労働状況が改善	通勤時間の短縮	職場の雰囲気や人間関係	自分にあった仕事	起業・創業のしやすい環境	重視するものはない
全体	TOTAL	1,066	22.2	7.0	23.8	18.6	23.5	38.6	4.6	22.9
	18-19歳	18	27.8	5.6	22.2	27.8	27.8	44.4	0.0	16.7
	20-29歳	172	29.1	10.5	27.9	23.3	25.0	34.9	5.8	12.8
	30-39歳	247	29.6	9.3	32.0	19.0	26.7	37.2	5.3	13.8
	40-49歳	243	25.1	8.6	25.9	17.3	27.2	41.2	3.7	16.9
	50-59歳	165	15.2	3.6	23.0	21.2	26.7	46.1	6.1	22.4
	60-69歳	159	6.9	1.9	10.1	15.1	13.2	35.2	2.5	47.8
	70-74歳	62	19.4	4.8	9.7	8.1	9.7	32.3	4.8	50.0
全体のうちUIターンの候補地として島根県に「関心あり」と回答した人	TOTAL	222	23.0	9.9	25.7	17.6	22.5	41.0	5.0	17.1
	18-19歳	2	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20-29歳	40	27.5	17.5	37.5	22.5	20.0	37.5	5.0	10.0
	30-39歳	53	34.0	7.5	37.7	11.3	18.9	35.8	7.5	9.4
	40-49歳	57	22.8	10.5	21.1	26.3	35.1	47.4	0.0	7.0
	50-59歳	19	5.3	5.3	15.8	5.3	26.3	42.1	5.3	36.8
	60-69歳	30	10.0	6.7	10.0	20.0	13.3	46.7	3.3	33.3
	70-74歳	21	19.0	9.5	19.0	4.8	9.5	33.3	14.3	38.1

- ・ 「自分にあった仕事」「労働状況が改善」「職場の雰囲気や人間関係」が高く、現在の職場環境を変えたいという傾向がうかがえる。
- ・ 20～40代では、収入の増加を重視する割合が高く、実践層や関心層の回答からも収入面については、UIターン前後のギャップにつながる可能性がある

課題分析

低関心層：UIターン希望者への調査2（都市部在住のUIターン検討者）

②生活環境に関すること

[複数回答 最大2つ選択]

		n=	自然環境に恵まれた生活	家庭菜園やガーデニング	ゆったりとした生活	自然災害(地震・台風等)が少ない	治安	適度な人間関係	趣味の充実	地域活動・祭り等への参加	重視するものは特にな
全体	TOTAL	1,066	38.6	11.8	54.3	13.2	15.1	24.1	14.5	2.3	6.3
	18-19歳	18	5.6	5.6	55.6	11.1	33.3	38.9	11.1	5.6	11.1
	20-29歳	172	25.6	11.6	51.2	12.8	16.9	27.9	17.4	2.9	10.5
	30-39歳	247	41.7	8.9	58.7	11.7	19.8	23.9	15.0	1.6	3.2
	40-49歳	243	35.4	6.6	59.7	12.8	15.2	23.5	16.0	2.9	6.2
	50-59歳	165	39.4	9.1	54.5	16.4	13.3	26.7	15.2	1.8	4.8
	60-69歳	159	49.7	23.3	46.5	15.7	6.9	18.2	10.1	1.9	6.9
	70-74歳	62	53.2	24.2	43.5	8.1	11.3	21.0	9.7	3.2	8.1
全体のうちUIターンの候補地として島根県に「関心あり」と回答した人	TOTAL	222	49.5	19.4	50.0	5.9	11.3	23.9	11.7	3.6	4.1
	18-19歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20-29歳	40	32.5	22.5	42.5	12.5	20.0	32.5	15.0	5.0	2.5
	30-39歳	53	43.4	15.1	49.1	3.8	15.1	26.4	17.0	5.7	1.9
	40-49歳	57	52.6	14.0	57.9	8.8	7.0	21.1	8.8	5.3	1.8
	50-59歳	19	42.1	15.8	57.9	0.0	5.3	10.5	15.8	0.0	15.8
	60-69歳	30	73.3	23.3	50.0	0.0	3.3	16.7	3.3	0.0	6.7
	70-74歳	21	66.7	33.3	42.9	4.8	4.8	28.6	9.5	0.0	4.8

- 田舎暮らしを漠然とイメージした項目の割合が高い。ゆったりとした生活を求める割合が半数を超えており、職場環境の改善による仕事とプライベートのバランスを意識しているものと思われる。

③医療福祉、教育・子育てに関すること

[複数回答 最大2つ選択]

n=		医療機関の数や 医療レベルの充 実	保育所の入りや ずさ(待機児童が 少ない)	保育サービスの 充実(放課後対 策等)	子育てにかかる 時間の長さ	学校等の規模感 (生徒数など)	子どもの教育環 境(習い事や塾、 スポーツ等)	都会にはない子 育て環境	子どもの人間力 形成に良い影響	重視するものは 特にな	
全体	TOTAL	1,066	41.1	10.1	5.7	12.9	5.4	8.1	22.8	20.1	24.3
	18-19歳	18	27.8	27.8	0.0	11.1	27.8	11.1	22.2	22.2	22.2
	20-29歳	172	30.8	18.6	9.9	18.0	6.4	12.8	22.7	18.0	21.5
	30-39歳	247	30.4	18.2	11.3	22.3	7.7	8.9	32.4	25.1	13.0
	40-49歳	243	39.5	4.9	3.7	11.5	3.3	9.1	21.0	22.2	31.3
	50-59歳	165	54.5	3.0	3.0	6.1	3.0	4.8	16.4	17.0	26.1
	60-69歳	159	57.2	2.5	0.0	5.7	2.5	4.4	20.8	16.4	29.6
	70-74歳	62	45.2	8.1	3.2	4.8	9.7	4.8	14.5	14.5	32.3
全体のうち UIターンの 候補地とし て島根県に 「関心あり」 と回答した 人	TOTAL	222	37.4	14.0	5.0	14.9	9.5	7.2	26.1	20.7	20.3
	18-19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20-29歳	40	37.5	27.5	15.0	30.0	12.5	10.0	20.0	10.0	10.0
	30-39歳	53	28.3	22.6	3.8	15.1	17.0	3.8	35.8	20.8	13.2
	40-49歳	57	29.8	5.3	1.8	15.8	5.3	8.8	29.8	26.3	28.1
	50-59歳	19	42.1	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	15.8	15.8	31.6
	60-69歳	30	60.0	3.3	0.0	3.3	3.3	6.7	23.3	23.3	20.0
	70-74歳	21	38.1	14.3	4.8	9.5	4.8	9.5	19.0	23.8	28.6

- ・ 島根県へのUIターン希望者を対象とした調査と同様に、医療関係や子育て環境に関する項目は総じて割合が高い。
- ・ 中でも、島根県へのUIターンに関心がある人の場合、若い世代を中心に子育て環境を特に重視する傾向にある。
- ・ 子育てにかかる時間の長さの割合が高いことから、充実した子育て環境のPRは重要であると推察される。

5-2. まとめ

課題分析より得られた結果をもとに、主なターゲット層やニーズを整理した。

(1)実践層：島根県へのUIターン実践者

	内容	
	Uターン者	Iターン者
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 定住するかどうか未定あるいは転出意向のUIターン者 	
UIターン時の課題	<ul style="list-style-type: none"> 車社会への適応(購入、維持費用等) 結婚相手との出会い 	<ul style="list-style-type: none"> 車社会への適応(購入、維持費用等) 生活環境全般(地域の風習、人間関係等) 友人・結婚相手との出会い 困りごとの相談先がわからない 支援機関のバックアップ 助成等の支援体制
UIターン検討者にPRすべき内容(期待<実態)	<p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員構成(年齢、性別など) 起業・創業ができる環境 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が濃い・薄い 祭りや地域イベント 買物の利便性 <p>【医療福祉、教育・子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関へのアクセス 	<p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働時間 福利厚生 職場の雰囲気・人間関係 研修やキャリア制度 従業員構成(年齢・性別など) 起業・創業ができる環境 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市部に近いレベルの生活環境 人間関係が薄い 買物の利便性が良い <p>【医療福祉、教育・子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関の数や医療レベルの充実 医療機関へのアクセス 出産・子育てにおける医療機関や支援機関 自分の価値観に合う結婚相手・パートナーが見つかる
UIターン検討者にPRする上で改善・対策が必要な内容(期待>実態)	<p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家賃・物価 	<p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活費(食費等) 家賃・物価 <p>【医療福祉、教育・子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所の入りやすさ(待機児童) 保育サービスの充実(放課後対策等) 保育料や乳幼児医療費の安さ 子育てにかかる時間の長さ

定住に向けた課題
(定住意向なしの者が不満に感じること)

■不満点

【仕事】

- 給与、昇給・昇進
- 研修やキャリア制度

【生活環境】

- 都市部に近いレベルの生活環境
- 人間関係が濃い
- 仕事とプライベートのバランス
- 交通の便、交通費
- 買物の利便性
- 生活費(食費等)
- 家賃・物価

【医療福祉、教育・子育て】

- 医療機関の数や医療レベル
- 医療機関へのアクセス
- 出産・子育てにおける医療機関や支援機関
- 子どもの学力向上
- 自分の価値観に合う結婚相手・パートナー

■不満点

【仕事】

- 給与

【生活環境】

- 都市部に近いレベルの生活環境
- 交通の便、交通費
- 買物の利便性
- 生活費(食費等)
- 家賃・物価
- 希望する質の住宅(戸建て、庭付き)

【医療福祉、教育・子育て】

- 医療機関の数や医療レベル
- 医療機関へのアクセス
- 保育料や乳幼児医療費
- 子どもの教育費
- 子どもの学力向上

(2)関心層：島根県へのU I ターン検討者

	内容	
	Uターン検討者	Iターン検討者
関心のある層	<ul style="list-style-type: none"> 特に 30～60 代(70 代の検討者は多いがUターン意向は低い) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に 30～40 代
全体のニーズ	<p>■きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の出身地、土地・家屋を継ぐ、親・兄弟などの介護 <p>■重視すること</p> <p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容、給与 職場の雰囲気・人間関係 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 田舎暮らし 食べ物、水がおいしい <p>【医療福祉、教育・子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関の数や医療レベルの充実、 医療機関へのアクセス 都会にはない子育て環境(自然の中で育つ環境等) <p>■検討時に不便なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 望む業種の求人数がわからない 医療機関数や医療レベルがわからない 仕事情報の不足 	<p>■きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 田舎暮らしの憧れ、都会の生活に疲れた、就職・転職を考えるタイミング <p>■重視すること</p> <p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容、給与 職場の雰囲気・人間関係 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた生活 田舎暮らし 仕事とプライベートのバランス <p>【医療福祉、教育・子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関の数や医療レベルの充実、 医療機関へのアクセス 都会にはない子育て環境(自然の中で育つ環境等) <p>■検討時に不便なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 望む業種の求人数がわからない 仕事情報の不足 医療機関数や医療レベルがわからない 生活環境全般のイメージがわからない

(3)低関心層：都市部在住のUIターン希望者

	内容
関心のある層	<ul style="list-style-type: none"> 地域別では特に関西圏 年代は10代、30～40代、70代
全体のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 田舎暮らしの憧れを求めて島根県にUIターンしたい(特に30～50代) ■「仕事に関すること」で重視すること <ul style="list-style-type: none"> 自分にあった仕事かどうか(最重視) キャリアアップができるか(特に20代) ■「生活環境」で重視すること <ul style="list-style-type: none"> ゆったりとした生活かどうか(最重視) 自然環境に恵まれた生活かどうか ■「医療福祉、教育・子育て」で重視すること <ul style="list-style-type: none"> 医療機関の数や医療レベルが充実しているか(最重視、特に60代) 都会にはない子育て環境があるか(特に30～40代) 子どもの人間力形成に良い影響があるか

5-3. 総括

今回の調査により、U I ターン検討者とU I ターン実践者の課題やニーズを把握することができた。どちらも、Uターン者とIターン者で課題やニーズが異なる。Uターン者は仕事や生活環境、医療福祉など、生活全般において基盤が整っているかどうかを求める傾向がみてとれた。

一方、Iターン者は田舎暮らしや自然に囲まれた生活を求め、そういった場所で子どもを育てたいといったニーズが傾向としてみてとれた。課題は、ニーズに対する具体的イメージを掴んでもらうことが重要であると考ええる。

島根県では、家賃・物価や、交通費が思っていたよりも高いと感じるU I ターン者が多い。一方で、職場環境や自然に恵まれた生活、自然災害が少ない、治安が良い食べ物がおいしいなど、都会では得ることができない長所がある。U I ターン検討者には島根県にU I ターンをする際の長所だけではなく、U I ターン実践者が感じる現実を伝えることも必要ではないかと考える。

U I ターン実践者がより多く定住してもらうための課題として、主に仕事や生活環境を理由にする意見が多かった。一方で、Iターン者は“島根に愛着が湧かない”と答える意見もあった（今後も定住するかどうかわからない者のうち、約3割）。そのため、人との交流や地域イベント、趣味での繋がりなど、人を介して島根に愛着を持ってもらうための対策を図ることなどで、Iターンの定住意向が高まる可能性がある。